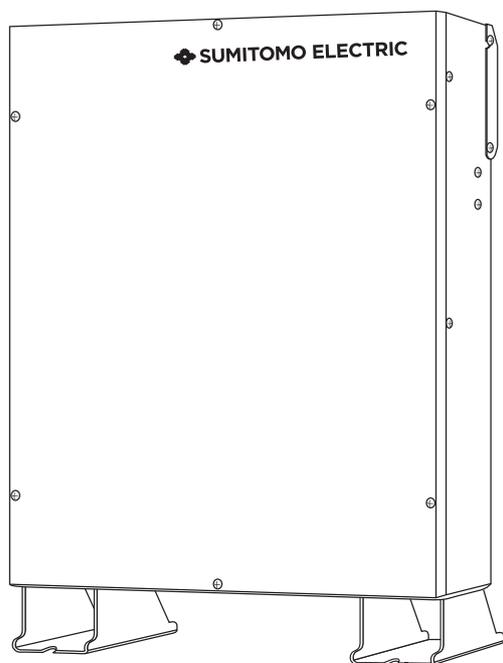


取扱説明書

家庭用蓄電システム POWER DEPO® IV

型番 PDS-1500S02



もくじ

本製品の特長	2
もしもの「安心」、いつもの「節電」	3
安全上のご注意	4
本蓄電システムの概要	11
室内リモコン各部の名前とはたらき	14
室内リモコンの操作のしかた	16
運転する	19
運転モードを選ぶ	21
事前に停電に備える場合(緊急充電モード)	23
停電になったときは	24
非常時の設定について	25
2台設置(増設)機能について	26
放電を停止する電池残量を設定する	27
充放電の時間を設定する	28
PV自立引込電流を設定する	30
ネットワークの設定をする	31
ネットワークの設定を確認する	35
画面表示や操作音の設定を変える	36
日時を設定する	37
設定を初期化する	38
機器情報を確認する	39
室内リモコンをリセットする	40
メニューから設定できる項目	41
こんなときは	42
こんなエラーが出たときは	44
点検	48
停電時の家電製品の利用について	50
保証とアフターサービス	51
お客様の個人情報の取得・取扱いに関して	53
仕様	54
蓄電システムの外形寸法	55

保証書別添付

このたびは、家庭用蓄電システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用前に、“安全上のご注意”を必ずお読みください。

■この取扱説明書は、必要なときにすぐに見られる場所に保管してください。

■保証書は取扱説明書と共に大切に保管してください。

■製品添付の保証書は1年保証です。

設置完了報告書と出荷証明書兼保証書の返送を持って長期保証が適用されます。

この商品は日本国内で使用してください。

日本国内専用品
Use only in Japan

本製品の特長

リチウムイオン蓄電池搭載

3.3 kWh*のリチウムイオン蓄電池を搭載しています。

※使用開始時に周囲温度25℃で放電深度が100%のときの状態の為、実際に使用できる容量とは異なります。
また、低温時または高温時は容量が一時的に減少する場合があります。

室内リモコンを標準で装備

停電時でも操作できる室内リモコンを装備しています。

室内リモコンの画面で充電電力と放電電力が一目でわかります。また直感的操作が可能な仕組みで、かんたんに操作できます。停電時は画面のメッセージでお知らせします。

2台設置(増設)機能搭載

使用目的(停電時のバックアップ時間の延長、太陽光発電の自家消費等)に応じて3.3 kWhの蓄電システムを2台設置して6.6 kWhの蓄電システムとして使用することができます。

先に1台設置していても、後からでももう1台を設置(増設)することができます。

もしもの「安心」、いつもの「節電」

3つの運転モード

「電気料金の安い時間帯の電力を蓄電池に充電する「通常モード」、太陽電池で発電した電力を蓄電池に充電する「グリーンモード」、事前に予測出来る停電に備える「緊急充電モード」の3つのモードがあります。「通常モード」や「グリーンモード」では、充電しておいた電力は、電力使用ピーク時に活用でき、電気料金の節約になります。

日常のご使用やご家庭の環境に合わせた運転モードを選ぶことができます。

●通常モード

充電を割安な時間帯に、放電を電力使用量ピーク時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。また、太陽電池で発電した電力の余剰分はしっかり売電します。

経済性を重視したエコノミー設定です。もし、天気が悪く、太陽電池で発電した電力が無い場合でも、蓄電池から放電することで、割高な時間帯の電力使用を抑えることができます。

●グリーンモード

太陽電池で発電した電力は優先的に家庭で使用し、ゼロエミッションを目指すモードです。昼間、太陽電池で発電した電力の余剰分はできるだけ蓄電池に充電し、夜の電力使用ピーク時に活用します。自家発電したものを優先的に使用する地産地消モードで、環境を重視したエコロジー設定です。

充電タイマーを電気料金が割安な時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。太陽電池で発電した電力の余剰分で蓄電池の充電を行います。1日あたりの充放電サイクルを増やすことにより稼働率を上げ、経済効果を発揮させることもできます。

●緊急充電モード

緊急充電モードとは、非常時の停電に備えて電力を貯めることを目的として使用するモードです。

緊急充電モードを開始した場合、蓄電池残量を100%まで充電し、その状態を維持します。

緊急充電モードは、設定後24時間経過すると、緊急充電モード前の設定に戻ります。

もしもの停電時も「安心」!

もしもの停電時や計画停電に備えて、蓄電システムからご家庭に、必要な電力をバックアップします。停電が発生すると、蓄電システムは自動的に自立運転に切り替わります。

●昼間の晴天時は、太陽電池で発電した電力と蓄電池を併用して電力を供給します。

●雨や曇りの日・夜間の停電でも、充電された蓄電池から電力を供給(放電)します。

●蓄電システムからの出力で停電時に液晶テレビ、LED 照明、ノートパソコン等必要最低限の家電製品を最大9時間*作動させることができます。

※特定コンセントに約300Wの家電製品を接続した場合の目安です。

実際のご使用では、蓄電池の充電量、その他の条件で変わります。

●台風等の事前に分かる非常時の停電に備え、緊急充電モードを使用することで蓄電池に電力を充電することが出来ます。

安全上のご注意 必ずお守りください

ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をお読みのうえ、よく理解してください。
お読みになったあとも必要なときにすぐ見られるよう、大切に保管してください。
また、人身上の傷害や財産への損害を未然に防ぐため操作は取扱説明書の指示、手順にしたがって行ない、装置や取扱説明書に表示されている注意事項は必ず守ってください。

■誤った使いかたで生じる内容を次のように区分して、説明しています。

 警告	「死亡、または重傷* ¹ を負うおそれがある」内容です。
 注意	「傷害* ² を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

*1: 重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを示します。

*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を示します。

設置に関する注意事項



警告



取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売会社へ依頼する
不備があった場合、感電や火災のおそれがあります。



次のような場所への設置は行わない

蓄電システム

- 日本国外
- 次の温湿度範囲以外のところ
温度:-10~+40℃、湿度:15~90%RH
(ただし、結露なきこと)
〔省エネルギー基準地域区分1/2/8(ただし、屋内は除く)〕
- 積雪により製品が埋没するところ(積雪地域に設置する場合は、屋根/囲い等を設ける)
- 塩害地域(日本冷凍空調工業会標準規格 JRA9002-1991「空調機器の耐塩害試験基準」に基づく)
- 直射日光が当たるところ
※オプションの蓄電システム用日よけ取付時は除く。
- 指定の取付スペースを確保できないところ
(➡ P.6、P.7)
- 過度の水蒸気、油蒸気、煙、塵埃、腐食性物質、爆発性/可燃性ガス、化学薬品、火気の近くまたはおそれがあるところ
- 浸水のおそれがあるところ
- 温度変化の激しいところ(結露のあるところ)
- 騒音について激しい制約を受けるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 近くに電波妨害を受けやすい設備・機器があるところ
- 岩礁隣接地域
- 風通しが悪いところ

室内リモコン

- 屋外
- 温度変化が激しいところ
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 水蒸気、油蒸気、雨水、結露のあるところ
- 浸水のおそれがあるところ
- 電界の影響が大きいところ
- 直射日光が当たるところ
- 次の温湿度範囲以外のところ
温度:-10~+40℃、湿度:25~85%RH
(ただし、結露および氷結なきこと)
- 通風を妨げ、使用条件温度を超えるような押し入れや階段下などの狭い場所
- 操作が困難で、表示部が確認しづらいところ

【下表の環境を満足できない設置場所】

蓄電システム	
設置場所	屋外/屋内
使用温度範囲	-10~+40℃(直射日光が当たらないこと)※
保管温度範囲	-20~+45℃
使用湿度範囲	15~90%RH(ただし結露なきこと)
標高	1500m以下

※本体内の温度センサの計測値によります。

安全上のご注意 つづき

⚠ 警告

⊘ 次のような場所への設置は行わない(つづき)

【下図に示すスペース・条件を確保できない設置場所】

●屋外500mmブロック・平面基礎アンカー固定の場合

<取付スペース(ケーブル配線接続時・取り外し時)*1>	<取付スペース(設置後)>
<p>・前面に作業スペースが取れない場合(左から作業時)</p> <p style="font-size: small;">100 mm 以上 500 mm 以上 130 mm 以上 300 mm 以上 ブロック 158 mm 以上 平面基礎 123 mm 以上</p>	<p>・前面に作業スペースが取れない場合(左から作業時)</p> <p style="font-size: small;">100 mm 以上 300 mm 以上 200 mm 以上 ブロック 60 mm 以上 平面基礎 35 mm 以上</p>
<p>・前面に作業スペースが取れる場合</p> <p style="font-size: small;">100 mm 以上 130 mm 以上 130 mm 以上 450 mm 以上 ブロック 158 mm 以上 平面基礎 123 mm 以上</p>	<p>・前面に作業スペースが取れる場合</p> <p style="font-size: small;">100 mm 以上 60 mm 以上 60 mm 以上 50 mm 以上 300 mm 以上 ブロック 60 mm 以上 平面基礎 50 mm 以上</p>
<p>※1 日よけの取り外しも含みます。</p>	<p>・最小スペース設置の場合</p> <p style="font-size: small;">100 mm 以上 10 mm 以上 10 mm 以上 10 mm 以上 ブロック 158 mm 以上 平面基礎 123 mm 以上</p> <p style="font-size: x-small;">※風通しの悪いところに設置された場合、本体の温度上昇により運転停止する場合があります。 ※ブロックもしくは平面基礎のスペースを除いています。</p>

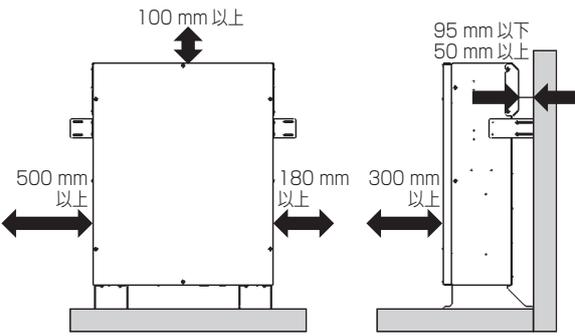
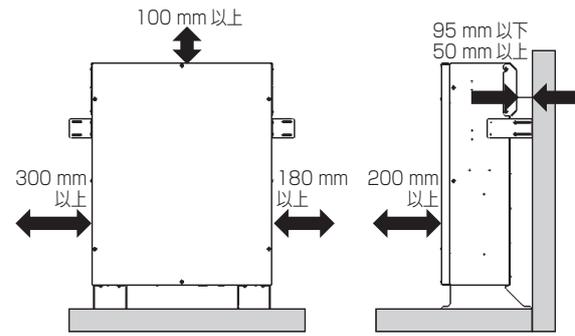
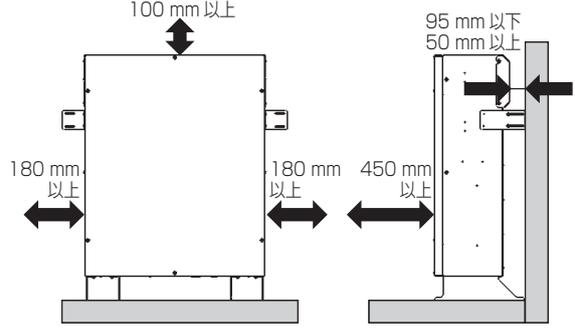
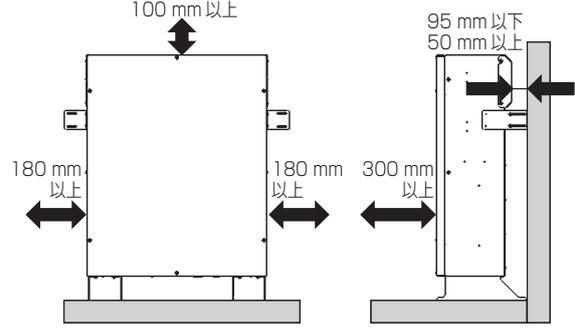
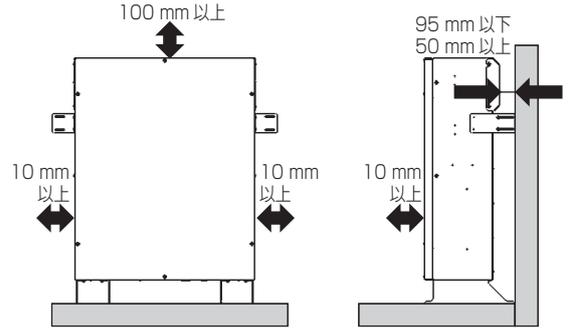
平面基礎の場合は曲がりコネクタを使用する必要があります。

	500mmブロック	平面基礎
推奨PF管	ミラフレキSD MFD-22	ミラフレキMF MF-22
推奨コネクタ	FPK-22YP	FNVK-22F

警告

次のような場所への設置は行わない(つづき)

●L字金具を使用して屋内または300mmブロックで固定の場合

<取付スペース(ケーブル配線接続時・取り外し時) ^{※1} >	<取付スペース(設置後)>
<p>・前面に作業スペースが取れない場合(左から作業時)</p> 	<p>・前面に作業スペースが取れない場合(左から作業時)</p> 
<p>・前面に作業スペースが取れる場合</p> 	<p>・前面に作業スペースが取れる場合</p> 
<p>※1 日よけの取り外しも含みます。</p>	<p>・最小スペース設置の場合</p>  <p>※風通しの悪いところに設置された場合、本体の温度上昇により運転停止する場合があります。 ※L字金具のスペースは除いています。</p>

※L字金具で壁に固定する場合は、壁からの距離は95mm以内としてください。

屋内の場合は曲がりコネクタを使用する必要があります。

	屋内	300mmブロック
推奨PF管	ミラフレキMF MF-22	ミラフレキSD MFD-22
推奨コネクタ	FNVK-22F	FPK-22YP

安全上のご注意 つづき

注意



落雪等でヒートシンクカバーが塞がらないよう設置状況により防雪・雪囲い等の処置を行う

行わない場合、温度上昇によりエラー発生する可能性があります。



ヒートシンクカバーを塞いだりヒートシンクカバー付近に荷物を置いたりしない

温度上昇によりエラー発生する可能性があります。

使用に関する注意事項

警告

<p> 分解・改造をしない 感電や傷害を負うおそれがあります。</p>	<p> 特定コンセントには、途中で電源が切れると困る家電製品は接続しない 家電製品の電源が切れ、パソコンなどのデータが破損するおそれがあります。 夜間や曇りなどで発電電力または蓄電池の電力が不足すると装置は停止します。不安定な電源なので生命にかかわる機器には絶対に使用しないでください。</p>
<p> 子供だけでは使わせない 感電・やけど・火災のおそれがあります。</p>	<p> 特定コンセントに金属、紙、水などを差しこんだり、中にいれたりしない 火災・感電・故障の原因となります。</p>
<p> 煙が出ていたり、変なにおいがする場合は、すぐに蓄電システムの運転を停止(→ P.20)し、その後屋内分電盤の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にする そのまま使用すると、火災の原因となります。 お買い上げの販売会社またはコールセンター(0120-690-285)へご連絡ください。</p>	<p> 本製品に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、物をのせたりしない 装置が変形・脱落し、けが・感電・故障の原因となります。</p>
<p> 近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない 引火し、やけど・火災の原因となることがあります。</p>	<p> 蹴るなどして強い衝撃を与えない 変形して短絡し、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります。</p>
<p> 可燃性ガスや引火物を近くに置かない(60cm以内) 電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火するおそれがあります。</p>	<p> 電気が蓄えられているので、注意する 屋内分電盤の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしても感電や傷害を負うおそれがあります。 十分に注意してください。</p>
<p> ヒートシンクカバーに物(金属、紙、水など)を差しこんだり中に入れたりしない 火災・感電・故障の原因となります。</p>	

安全上のご注意

つづき

⚠️ 注意

<p>⊘ シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない 装置の変色の原因となります。</p>	<p>⊘ ぬれた手でふれたり、ぬれた布でふいたりしない 感電の原因となることがあります。</p>
<p>❗ 特定コンセントにはAC100Vで最大15A(1500W)未満の機器を接続する 機器の故障の原因となることがあります。</p>	<p>⊘ ポンプやモーターなど起動時に大きな電力を必要とするものは使用しない 非常時設定では、負荷によって使用できないものがあります。</p>
<p>❗ 積雪時はヒートシンクカバーが塞がらないよう点検・除雪を行う 行わない場合、温度上昇によりエラー発生する可能性があります。</p>	<p>⊘ 装置の近くでテレビやラジオなどを使用しない 受信している電波の弱い場所では電波障害を受けるおそれがあります。 テレビの画面が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。</p>
<p>⊘ 一般ゴミとして廃棄しない 本製品はリチウムイオン電池を内蔵しておりますので、ゴミ収集車内や集積場での発煙、発火の原因になります。 廃棄する場合は、お買い上げの販売会社またはコールセンター(0120-690-285)へご相談ください。</p>	<p>⊘ 高圧洗浄機を使用しない 感電や機器の故障の原因となることがあります。</p>

無線通信機器内蔵について

本蓄電システムの室内リモコンには、電波法に基づく電力データ通信システムの無線局として、工事設計確認証を受けた無線設備を内蔵しています。

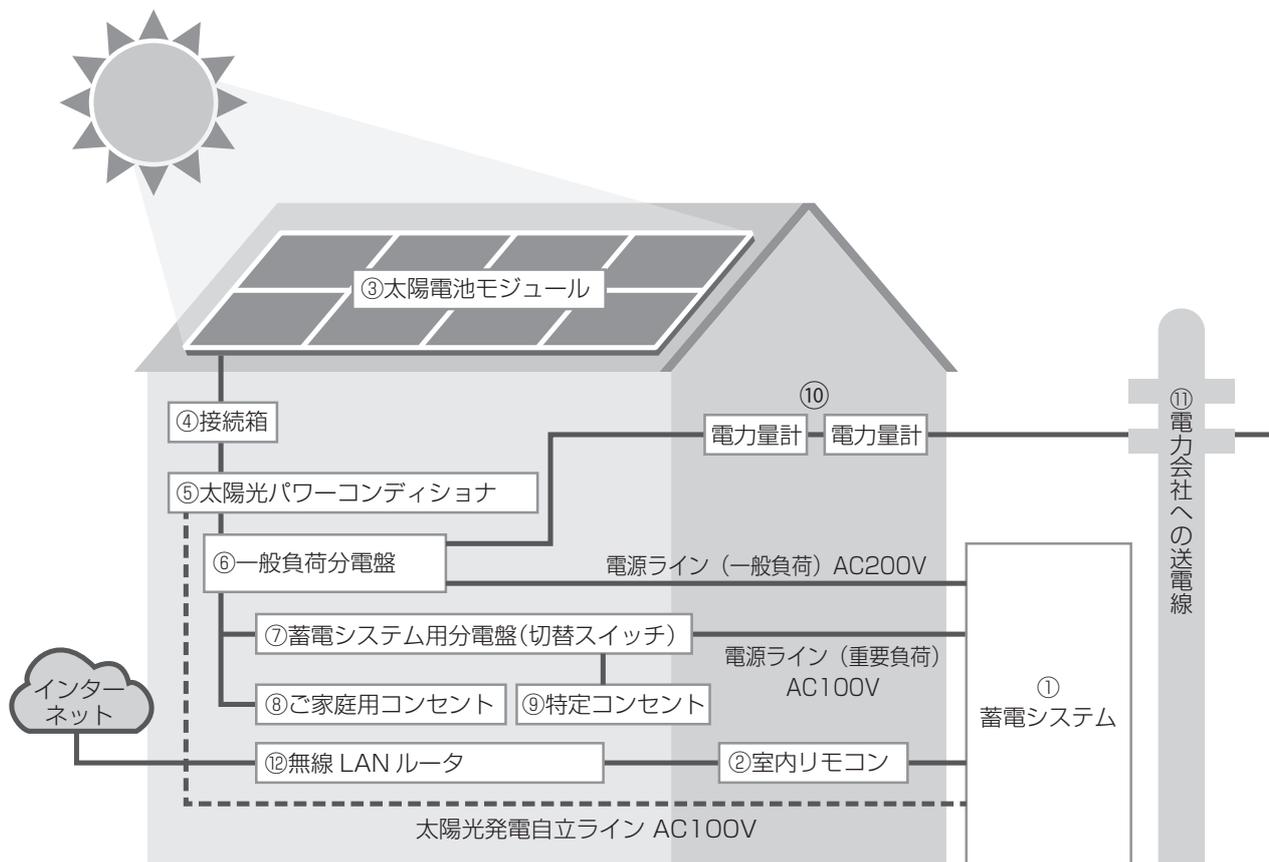
認証番号	211-160302
無線設備名	GS2101MIP

本蓄電システムの概要

この製品は、住宅の屋根などに設置した太陽電池と蓄電池を併用して、暮らしに必要な電気を供給する「蓄電システム」です。

停電時には太陽電池で発電した電力または蓄電池の電力を使用して照明等の重要負荷に電力を供給可能です。

蓄電システム用分電盤を使用するシステム構成(1台設置)



① 蓄電システム

リチウムイオン電池、蓄電パワーコンディショナで構成され、太陽電池で発電した電力または系統の電力を蓄えます。必要に応じて蓄えた電力を放電します。

② 室内リモコン

表示画面を備えた操作パネルです。充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。

③ 太陽電池モジュール

太陽光を受けて発電します。

④ 接続箱

太陽電池モジュールからのケーブルを太陽光パワーコンディショナに接続します。

⑤ 太陽光パワーコンディショナ

太陽電池で発電した電力(直流)を、ご家庭で使える電力(交流)に変換します。また、太陽光発電システム全体の運転を制御します。

⑥ 一般負荷分電盤

漏電ブレーカと太陽光発電用ブレーカ、蓄電システム用ブレーカを内蔵しています。

⑦ 蓄電システム用分電盤(切替スイッチ)

特定コンセントへの電力供給元(蓄電システム/系統)を切り替えるスイッチが内蔵された分電盤です。蓄電システム用分電盤を使用しない場合のシステム構成はP.13をお読みください。

⑧ ご家庭用コンセント

⑨ 特定コンセント

停電時に利用したい機器を接続して使用します。

⑩ 電力量計

売電用と買電用の2種類があり、電力会社に売った余剰電力(売電)と、買った電力(買電)を計量します。

⑪ 電力会社への送電線

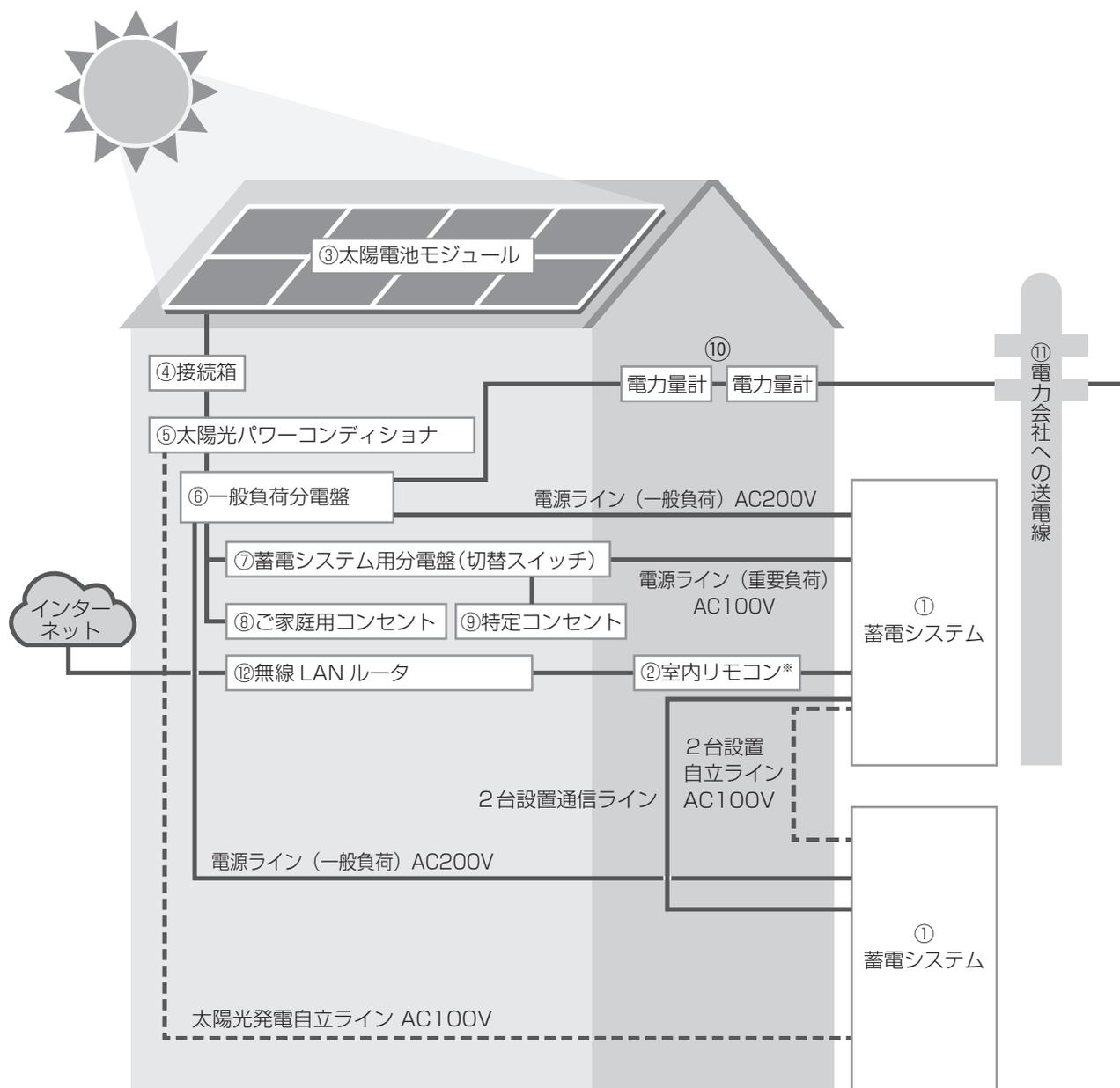
不足電力を電力会社から購入し(買電)、余剰電力を電力会社へ送ります(売電)。

⑫ 無線LANルータ

室内リモコンがインターネットに接続する際に使うルータです。

本蓄電システムの概要 つづき

蓄電システム用分電盤を使用するシステム構成(2台設置)



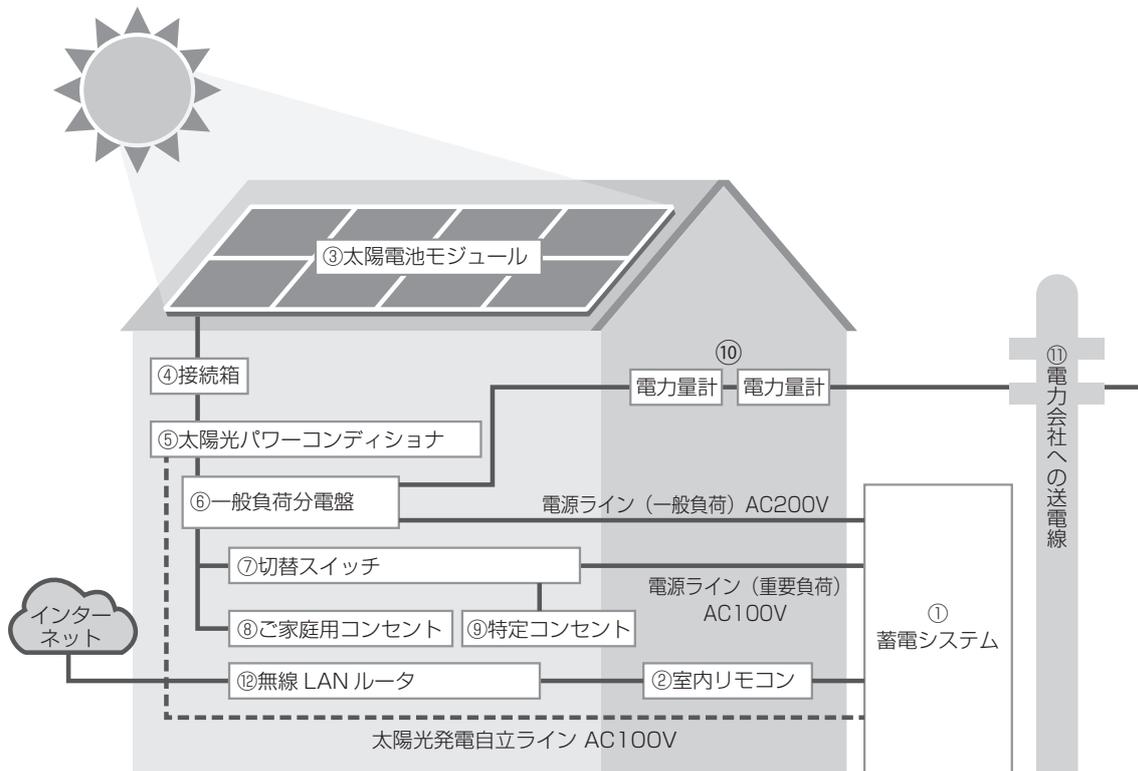
※ 1台既設の場所に2台目を増設する場合は、増設する蓄電システムに付属の新しい室内リモコンを使用してください。

蓄電システム用分電盤を使用しないシステム構成

切替スイッチを使用する場合、切り替えることで平常時は系統から、停電時は蓄電システムから特定コンセントに電力供給できます。切替スイッチを使用しない場合は、平常時は電力供給が行われず、停電時にのみ特定コンセントへ電力供給できます。

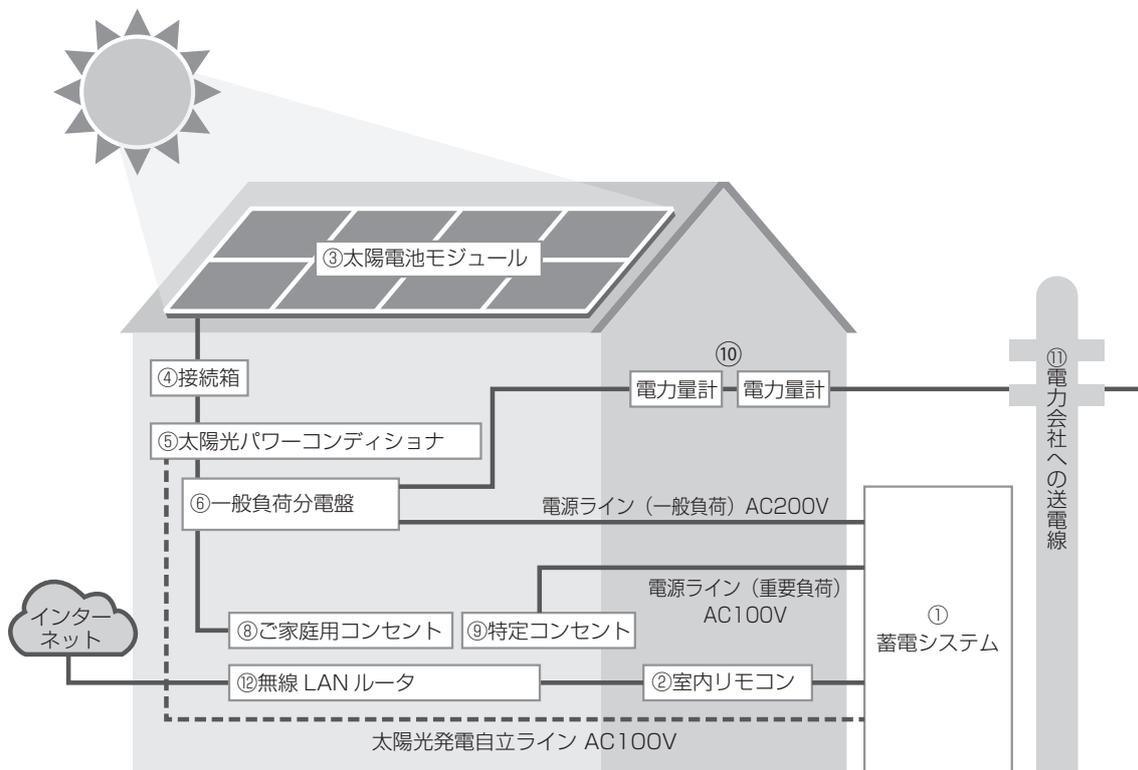
■切替スイッチのみ使用する場合

特定コンセントへの電力供給元(蓄電システム/系統)を切り替えることができます。



■切替スイッチを使用しない場合

停電時にのみ特定コンセントに電力を供給します。



室内リモコン各部の名前とはたらき

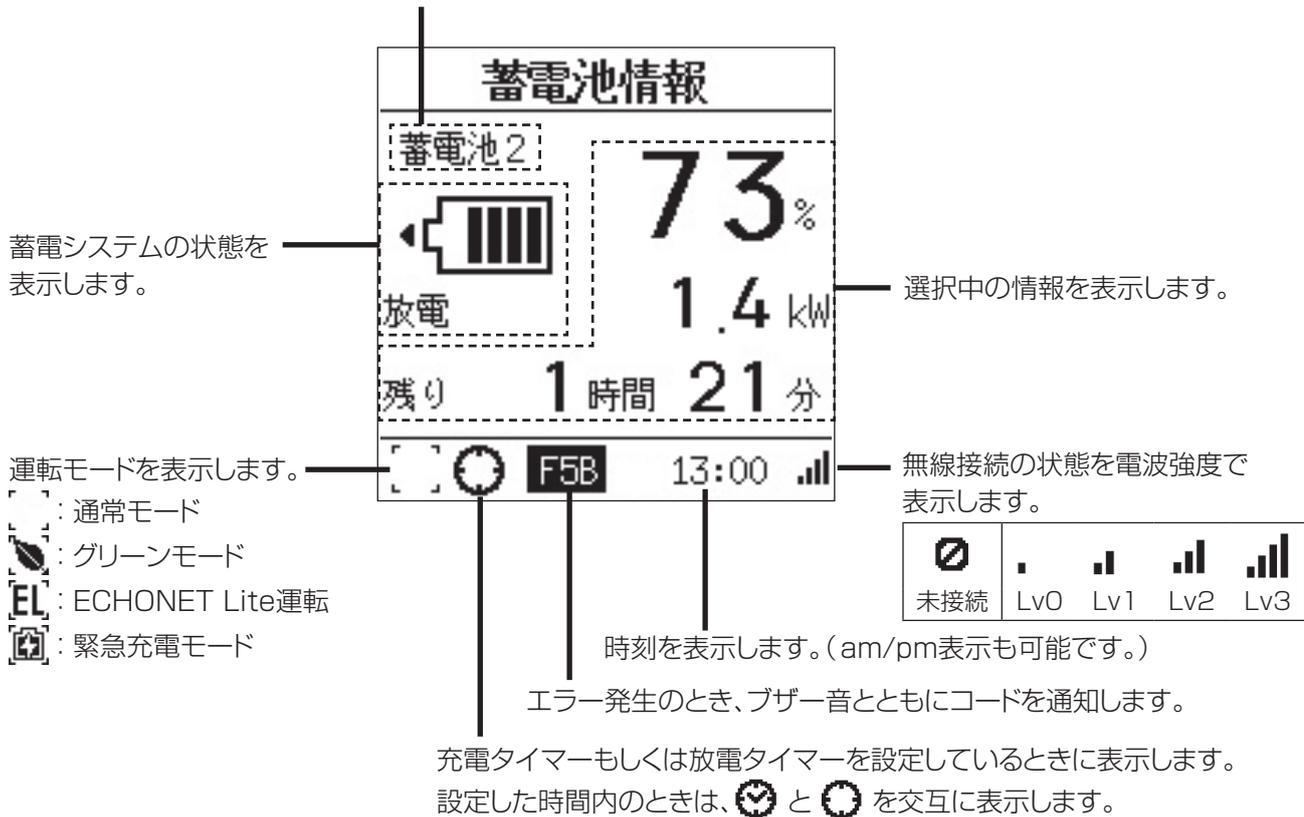
室内リモコン

	① アイコン	蓄電システムが運転時に点灯し、停止時に消灯します。	
		自立運転時(停電時等)に点灯し、連系運転時に消灯します。	
		エラー時に点灯します。	
	② 表示画面	蓄電池の状態、発電量、消費電力量、売買電力量を表示します。	
	③ 操作ボタン	蓄電池の状態を表示します。 蓄電池の2台設置時は蓄電池情報の切り替えが出来ます。 2台設置時の表示(➡ P.16)参照 (メニュー操作のときは、上方向へ移動します) 緊急充電モードを開始するにはボタン軽く長押し(約3秒)	
		発電電力と発電電力量を表示します。 (メニュー操作のときは、下方向へ移動します)	
		売買電力と売買電力量を表示します。 (メニュー操作のときは左方向へ移動します)	
		消費電力と消費電力量を表示します。 (メニュー操作のときは、右方向へ移動します)	
		各メニュー項目を開きます。 軽く長押し(3秒)=チャイルドロック (解除も軽く長押し3秒)	
		決定します。	
前の画面に戻ります。			
④ ブザー	ブザーが鳴ります。(筐体内部にあります)		
⑤ リセットボタン	蓄電システムをリセットします。(側面の開口部にあります)(➡ P.40)		

室内リモコンの表示画面の見かた

蓄電システムの設置台数を表示します。

表示	設置台数
なし	1台設置の場合
蓄電池1	2台設置の場合の1号機
蓄電池2	2台設置の場合の2号機



- 低温時は蓄電池の特性上、電池の残量が急に低下することがあります。その際に停止時の電池の残量が0%でない場合や、放電下限SOCと異なる場合があります。

室内リモコンの操作のしかた

画面表示を切り替える

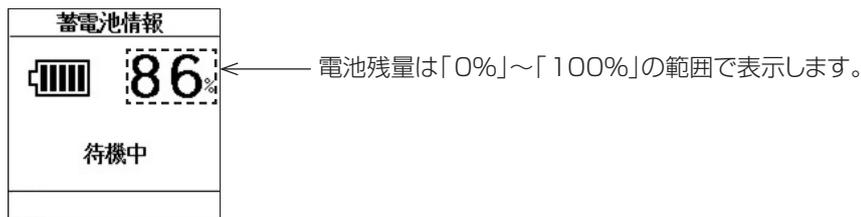
操作ボタンで画面表示を切り替えます。

●蓄電池情報の表示

 (蓄電) ボタンを軽く押すと、蓄電池の放電電力、充電電力、電池残量、残り使用時間(自立運転のときのみ)を表示します。

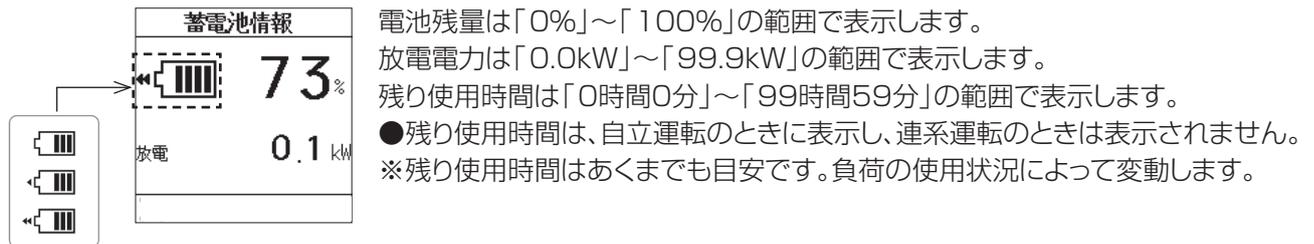
●待機中

蓄電システムが、待機中のときに表示します。



●放電中

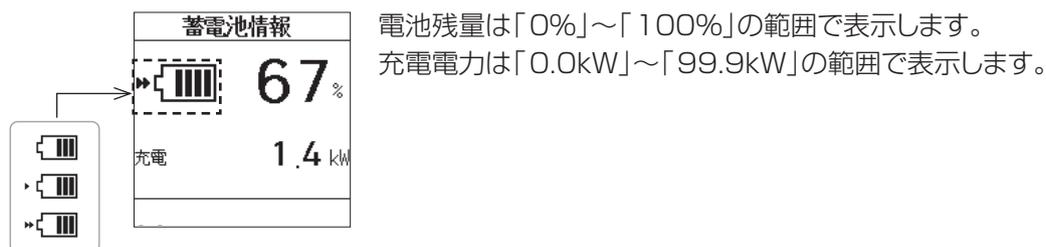
蓄電システムが、放電しているときに表示します。



放電状態をアニメーションで表示します。

●充電中

蓄電システムが、充電しているときに表示します。



充電状態をアニメーションで表示します。

- 低温時は蓄電池の特性上、電池の残量が急に低下することがあります。
その際に停止時の電池の残量が0%でない場合や、放電下限SOCと異なる場合があります。
また電池保護のため充放電電力が定格より小さくなる場合があります。

■2台設置時の表示

複数台接続時は、蓄電ボタンを軽く押すごとに、「合計の蓄電池情報」→「蓄電池1の蓄電池情報」→「蓄電池2の蓄電池情報」というように順番に切り替えて表示します。

●発電情報の表示

⚡(発電)ボタンを軽く押すと、発電情報を表示します。

発電情報	
⚡	2.6 kW
発電量	2.4 kWh

発電電力は「0.0kW」～「99.9kW」の範囲で表示します。
発電電力量は当日(0:00～23:59)の積算値とし、「0.0kWh」～「999.9kWh」の範囲で示し、深夜0時でリセットします。

発電状態をアニメーションで表示します。

●売買情報の表示

🏠(売買)ボタンを軽く押すと、売買情報を表示します。

• 売買なし

売買情報	
🏠	売買なし
売電量	0.0 kWh
買電量	0.8 kWh

買電電力量、売電電力量は当日の積算値とし、「0.0kWh」～「999.9kWh」の範囲で表示します。

• 売電中、買電中

売買情報	
🏠	2.4 kW
売電量	2.8 kWh
買電量	0.4 kWh

売買電力は「0.0kW」～「99.9kW」の範囲で表示します。
買電電力量、売電電力量は当日(0:00～23:59)の積算値とし、「0.0kWh」～「999.9kWh」の範囲で示し、深夜0時でリセットします。

売買状態をアニメーションで表示します。

●消費情報の表示

🔌(消費)ボタンを軽く押すと、消費情報を表示します。

消費情報	
🔌	3.3 kW
消費量	3.8 kWh

消費電力は「0.0kW」～「99.9kW」の範囲で表示します。
消費電力量は当日(0:00～23:59)の積算値とし、「0.0kWh」～「999.9kWh」の範囲で示し、深夜0時でリセットします。

消費状態をアニメーションで表示します。

室内リモコンの操作のしかた つづき

■蓄電システム1台設置の場合

		売買電 	消費 	蓄電 	発電 
発電機器	・蓄電池	系統の電力	住宅の消費電力	蓄電池の電力	表示なし ^{※2}
	・蓄電池 ・太陽電池(PV) (シングル)	系統の電力	住宅の消費電力	蓄電池の電力	太陽電池(PV)の電力
	・蓄電池 ・太陽電池(PV) (ダブル)	買電: 系統の電力 売電: PVの電力	住宅の消費電力	蓄電池の電力	太陽電池(PV)の電力
	・蓄電池 ・太陽電池 (PV PCS 2台) (シングル)	系統の電力	住宅の消費電力	蓄電池の電力	太陽電池(PV)2台分の電力
	・蓄電池 @自立運転	表示なし ^{※1}	重要負荷の電力	蓄電池の電力	蓄電池の電力+重要負荷の電力

■蓄電システム2台設置の場合

		売買電 	消費 	蓄電 	発電 
発電機器	・蓄電池	系統の電力	住宅の消費電力	蓄電池の電力	表示なし ^{※2}
	・蓄電池 ・太陽電池(PV) (シングル)	系統の電力	住宅の消費電力	蓄電池の電力	太陽電池(PV)の電力
	・蓄電池 ・太陽電池(PV) (ダブル)	買電: 系統の電力 売電: PVの電力	住宅の消費電力	蓄電池の電力	太陽電池(PV)の電力
	・蓄電池 ・太陽電池 (PV PCS 2台) (シングル)	系統の電力	住宅の消費電力	蓄電池の電力	太陽電池(PV)2台分の電力
	・蓄電池 @自立運転	表示なし ^{※1}	重要負荷の電力	蓄電池の電力	蓄電池の電力+重要負荷の電力

※1: 停電中は表示できないため、「停電中の為、売買情報は表示できません」のメッセージが表示されます。

※2: 対応していないため、「電池のみ契約の為、発電情報は表示できません」のメッセージが表示されます。

- 蓄電池の室内リモコン表示と外部発電機器(太陽光発電)の発電量表示は、計測点や演算処理の違いにより、一致しないことがあります。

運転する

通常の連系運転

電力会社からの電力または太陽電池で発電した電力、蓄電した電力を一般負荷分電盤に供給します。

●運転を開始する

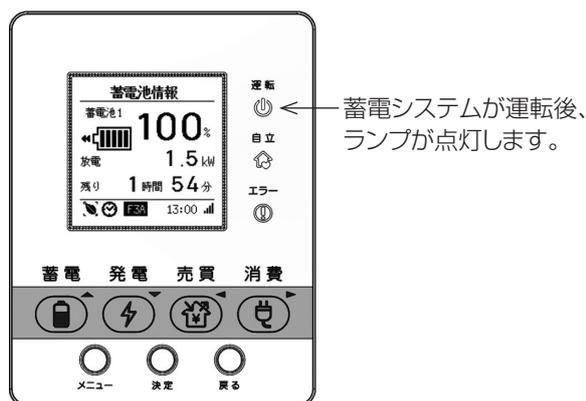
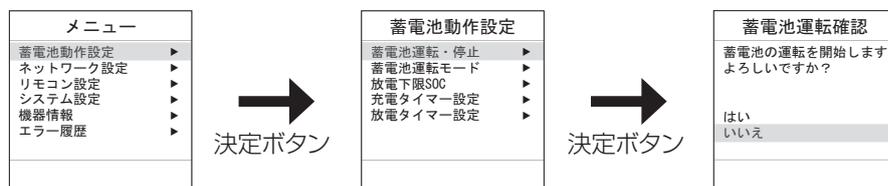
1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→蓄電池動作設定→蓄電池運転・停止を選び、「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを軽く押す

蓄電池の運転が開始します。2台設置(増設)時には、本操作で2台共運転を開始します。

・上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。

戻るボタンまたは左ボタンで表示を戻すことができます。



運転する つづき

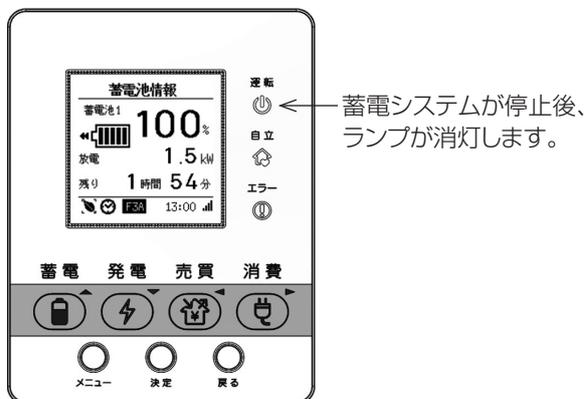
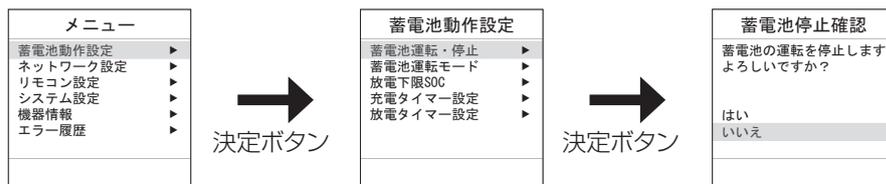
●運転を停止する

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→蓄電池動作設定→蓄電池運転・停止を選び、「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを軽く押す

蓄電池の運転が停止します。2台設置(増設)時には、本操作で2台共運転を停止します。

- ・上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。
- 戻るボタンまたは左ボタンで表示を戻すことができます。

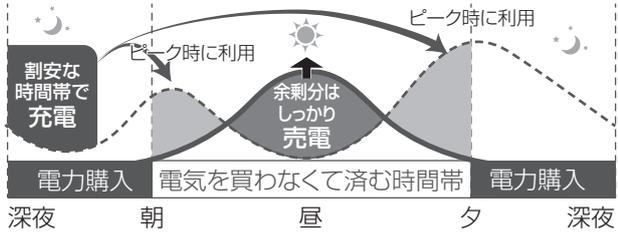
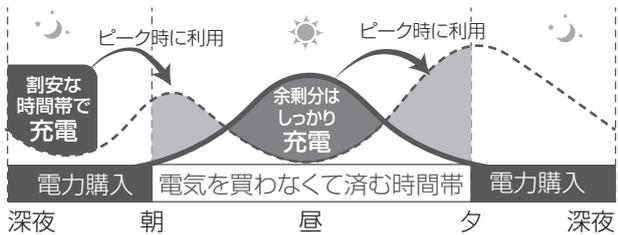
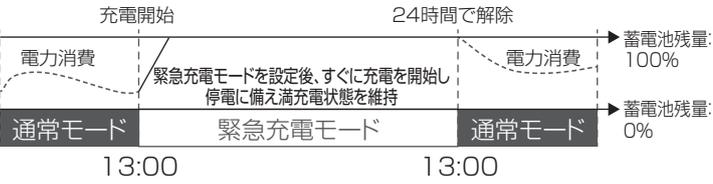


※運転を停止中は、蓄電池は動作しないため、忘れずに運転を開始してください。(➡ P.19)

蓄電池の電池残量が少なくなった場合は、蓄電池の過放電保護のため、自動的に充電する場合があります。

運転モードを選ぶ

■3通りの運転モード

<p>通常モード</p> <p>充電を割安な時間帯に、放電を割高な時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。放電の時間帯は、蓄電池は契約形態に応じて放電動作を行います。</p> <p>※充放電時間の設定(➡ P.28、P.29)</p> <p>※蓄電池が過放電の状態が続くと強制的に充電されます。</p>	
<p>グリーンモード</p> <p>充電を電気料金が割安な時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。太陽電池で発電した電力の余剰分で蓄電池の充電を行います。</p> <p>※蓄電池残量が100%のときは、余剰電力を売電します。</p> <p>※蓄電池が過放電の状態が続くと強制的に充電されます。</p>	
<p>緊急充電モード</p> <p>緊急充電モードとは非常時の停電に備えて電力を貯めることを目的として使用するモードです。緊急充電モードを開始した場合、蓄電池残量100%まで充電し、その状態を維持します。緊急充電モード設定後24時間経過で解除し、設定前のモードに戻ります。</p>	

契約設定により、選択できる運転モードが異なりますので、ご注意ください。

機種	契約設定	選択可能な運転モード
PDS-1500S02	シングル	通常モード、グリーンモード、緊急充電モード
	ダブル、電池のみ	通常モード、緊急充電モード

※契約設定を変更する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

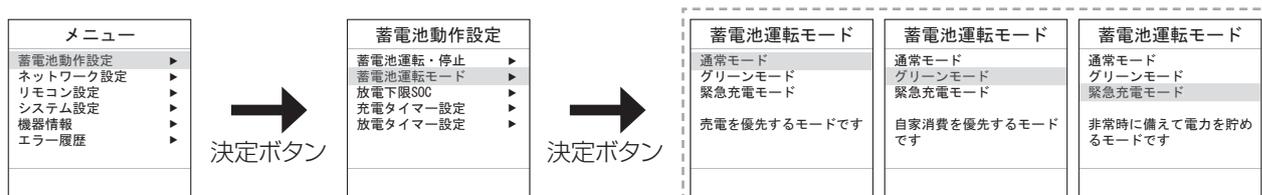
運転モードを選ぶ つづき

工場出荷時 通常モード

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→蓄電池動作設定→蓄電池運転モードから上下ボタンで蓄電池運転モードを選び、決定ボタンを軽く押す

- ・ 上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。
戻るボタンまたは左ボタンで表示を戻すことができます。



選択可能な蓄電池運転モードは、契約設定によって変化します。

- 蓄電池が運転中の場合は、蓄電池動作設定の「蓄電池運転・停止」を選択し、運転を停止してからモードを選択してください。

■知っておいていただきたいこと

●動作について

電気の使用量が多い場合、電池の残量0%の状態が続くと、電池の保護のために、電気のご使用量等に関係なく強制的に充電状態^{*1}になりますが、故障ではありません。またグリーンモードの場合は、電気のご使用量が少ない春や秋の季節、長時間ご不在時など、長時間満充電の状態が続くと、電池の保護のために、電気のご使用量等に関係なく強制的に放電状態^{*2}になります。

※1 室内リモコンの表示画面に「強制充電」のメッセージが表示されます。

※2 室内リモコンの表示画面に「強制放電」のメッセージが表示されます。

- 2台設置時は両方同じ設定になります。

事前に停電に備える場合(緊急充電モード)

※本手順以外に、通常の運転モード設定からも緊急充電モードへの設定変更は可能です。(➡ P.22)

※頻繁に緊急充電を行うと蓄電池の寿命に影響する可能性があるため、必要時のみ本モードをご使用ください。

■緊急充電モードの開始方法

1. 室内リモコンの (蓄電ボタン)を軽く押します。(約3秒)
2. 「緊急充電開始確認」が表示され、決定ボタンを軽く押した場合のみ、動作を開始します。

緊急充電開始確認
緊急充電を開始しますか？ 開始後、24時間経過で自動的に解除されます 開始する場合、決定ボタン キャンセルする場合、戻るボタンを押して下さい

※停電中は、緊急充電モードは動作しません。

※緊急充電モードは24時間経過後、自動で緊急充電前の運転モードに切り替わります。

■緊急充電モードの停止方法

1. 室内リモコンの (蓄電ボタン)を軽く押します。(約3秒)
2. 「緊急充電停止確認」が表示され、決定ボタンを軽く押した場合のみ、動作を停止します。

緊急充電停止確認
緊急充電を停止しますか？
停止する場合、決定ボタン キャンセルする場合、戻るボタンを押して下さい

停電になったときは

停電が発生した場合

停電が発生すると、本システムは自立運転に切り替わり、特定コンセントへの放電を開始します。特別な操作は必要ありません。(ただし、停電発生時に本システムが停止していると、自立運転を行いません)

- 停電時に本システムが自立運転を開始していないときは、「通常の連系運転」と同じ手順で運転を開始してください。
- 特定コンセント用に手動の切替スイッチを使用している場合は、切替スイッチを「蓄電」側にしてください。
切替スイッチを「蓄電」側でご利用いただいた場合、停電時、自動的に特定用コンセントに電気が供給されます。
切替スイッチを「系統」側のままの場合、停電時は特定コンセントに電気が供給されません。
停電中は室内リモコンのアイコンが点灯します(➡ P.14)。
- 停電中に太陽光発電システムの発電電力を本システムに充電する場合は、太陽光発電システムの運転モードを、停電中でも発電するように切り替える必要があります。太陽光発電システムの運転モードの切り替え方法は、ご使用の太陽光発電システムの取扱説明書を参照してください。
- 太陽光発電システムの発電電力が特定コンセントの電気製品を稼働させ、さらに余剰が出た場合に、本システムが充電されます。
※充電に切り替わる瞬間に一瞬の停電が起こります。
- 太陽光発電システムの発電電力が少なくなり、特定コンセントの電気製品の消費電力を賄いきれなくなった場合に、太陽光発電システムは出力を停止し、本システムからの放電に切り替わります。
※放電に切り替わる瞬間に一瞬の停電が起こります。

停電から復旧した場合

停電が復旧すると、本システムは停電前の連系運転モードに戻ります。特別な操作は必要ありません。

- 電力会社との協議で定められた時間内(最大5分)は、復電しても停電時の動作になります。
復電後、電力会社との協議で定められた時間を経過すると、本システムは通常時のモードで動作します。
- 特定コンセント用に手動の切替スイッチを使用している場合は、切替スイッチを「系統」側にしてください。
- 停電中に太陽光発電システムの発電電力を本システムに充電するために、太陽光発電システムの運転モードを切り替えていた場合は、太陽光発電システムの運転モードを戻す必要があります。太陽光発電システムの運転モードの切り替え方法は、ご使用の太陽光発電システムの取扱説明書を参照してください。

停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合

- 停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合には、蓄電システムが停止します。停止した状態が続くと本体保護でシステムがシャットダウンします。シャットダウンした場合は、復電後に復帰します。蓄電システム用ブレーカが「ON」であることを確認してください。
それでも復帰しない場合は、お買い上げの販売会社またはコールセンター(0120-690-285)へご連絡ください。

■ 太陽光発電の自立出力が蓄電システムに接続されている場合

「停電が発生した場合」と同様に、太陽光発電を自立運転に切り替えます。太陽光発電から蓄電システムに電力が供給されると、充電が開始されます。

1. 太陽光発電を自立運転に切り替えてください。
2. 特定コンセントからすべての機器を外してください。
3. 電力が太陽電池から供給されると、充電が開始されます。

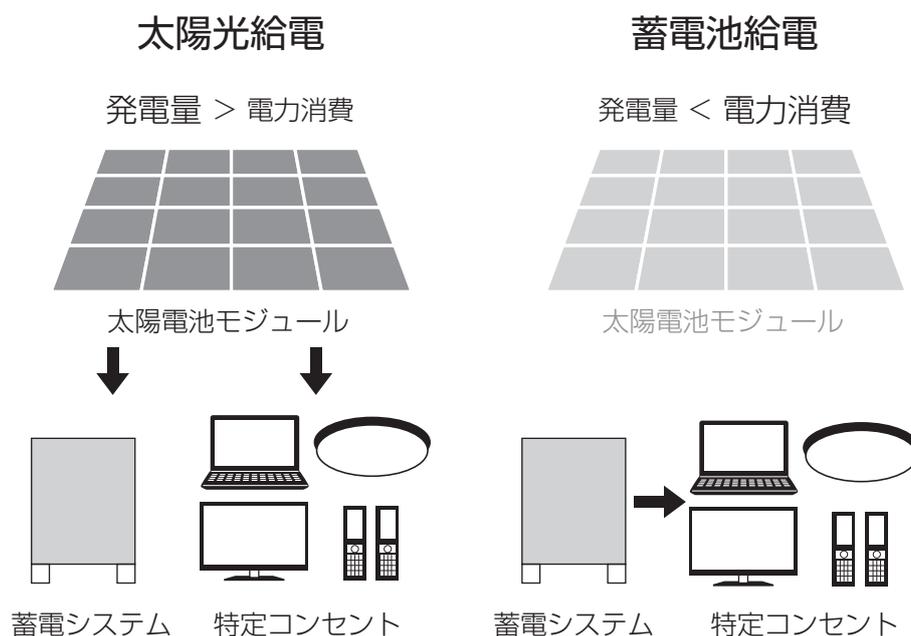
※運転が開始しない場合は、室内リモコンで運転が開始されていることを確認してください。(➡ P.19)

■ 太陽光発電の自立出力が蓄電システムに接続されていない場合

停電から復旧すると自動で充電を開始します。電池残量が10%に到達すると強制充電を終了します。

非常時の設定について

■ 太陽光発電システムが併設されている場合



太陽電池で発電した電力と負荷電力を判断しながら太陽光給電と蓄電池給電を自動で切り替えます。

●太陽光給電は、太陽電池から特定コンセントへの給電、蓄電システムへの充電を行います。

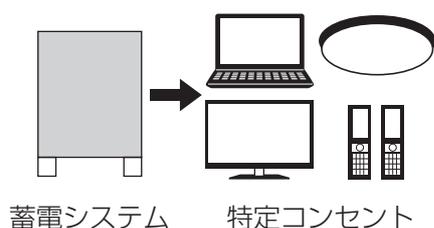
特定コンセントでの消費電力が大きいと充電できない場合があります。太陽電池で発電した電力が小さい場合、特定コンセントへの給電、蓄電システムへの充電ともにできない場合があります。

蓄電池残量がなくなってしまった場合は、特定コンセントへの給電状態によらず、太陽電池で発電した電力を強制的に充電します。

- 全てのパワーコンディショナについて本製品の動作を保証するものではありません。機種によっては、本製品の充電に必要な電力を発電していても、ノイズの影響などで充電が正常に行われられない可能性があります。
- パワーコンディショナの自立出力は、天候の変化などによって不安定になります。発電量が本製品の充電に必要な電力を下回った場合、パワーコンディショナが過負荷(出力が足りない状態)を検出して停止することがあります。停止した場合は本製品への充電を中止し、天候の回復を待ってから充電を試みてください。
- 過負荷の状態でも本製品への充電を継続した場合、パワーコンディショナの機種によっては自立出力の自動復帰と停止を繰り返すことがあります。(自立出力が停止している間は、本製品の蓄電池から接続機器へ電力を供給します。)
- 特定コンセントに接続している機器の電流波形によっては機器の消費電力が本製品の最大出力値以内であってもパワーコンディショナが過負荷となり自立出力を停止します。

●蓄電池給電は、蓄電システムから特定コンセントに給電を行います。

■ 太陽光発電システムが併設されていない場合



●蓄電システムから特定コンセントに給電を行います。

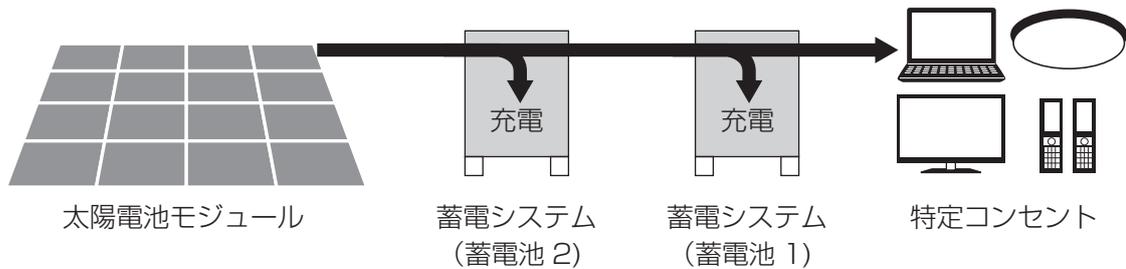
2台設置(増設)機能について

■ 停電時

●太陽光発電システムが併設されている場合

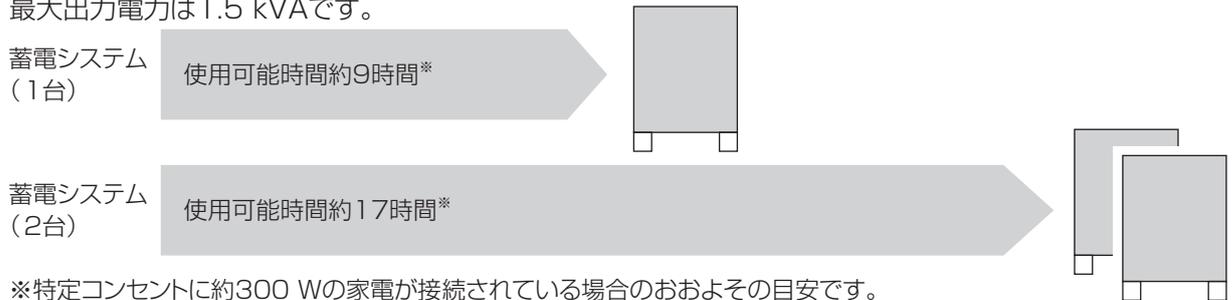
- ・太陽電池で発電した電力を2台の蓄電システムに充電します。
- ・太陽電池から充電できる最大充電電力は2台合計で1.5 kVAです。
- ・充電電力は設置時に設定されたPV自立引き込み電流値を上限として、太陽電池で発電した電力と特定コンセントでの消費電力に応じて充電電力が変動します。

PV引き込み電流値は、2台合計分の値であり、値に応じて各蓄電システムに自動で分配されます。



●太陽光発電システムが併設されていない場合

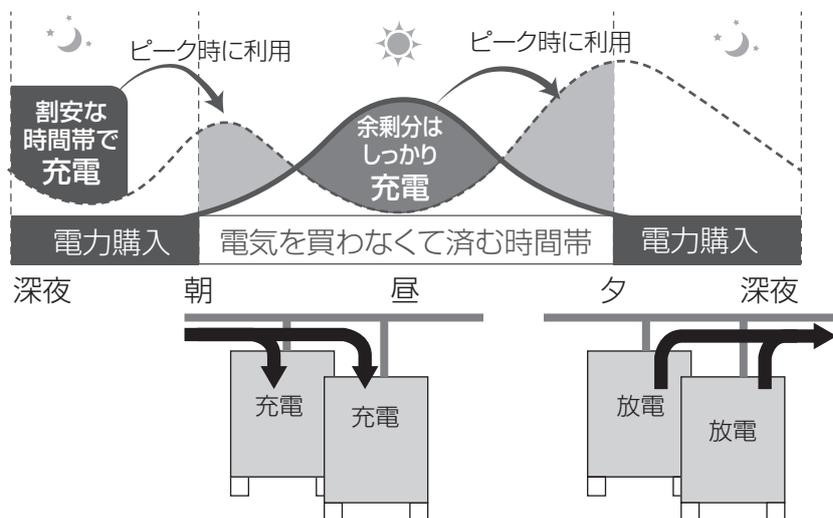
- ・2台設置(増設)することで特定コンセントへの給電時間が増加します。
- ・最大出力電力は1.5 kVAです。



※特定コンセントに約300 Wの家電が接続されている場合のおおよその目安です。
蓄電池の充電状態、その他の条件で変わります。

■ 通常時

- 昼間、太陽電池により発電した電力の余剰分をしっかりと2台の蓄電システムに充電し、負荷消費が増える夜の電力使用に活用します。
- 2台設置することで太陽電池で発電した電力の余剰分をより多く充電し使用することができるため、電力会社から購入する電力を減らすことができます。
- 2台設置することで充放電電力が最大で合計2.0 kWになります。



放電を停止する電池残量を設定する

系統連系運転時の放電を停止するときの電池残量(放電下限SOC)を設定できます。

本設定は停電時に電池残量を残しておくための設定となります。

なお、電気のご使用状況等によっては、設定した電池残量を下回る場合があります。

自立運転時とECHONET Lite放電時の放電停止の電池残量は0%です。

工場出荷時	30%
-------	-----

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→蓄電池動作設定→放電下限SOCを選ぶ

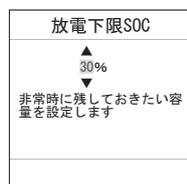
放電下限SOCの画面が表示されます。

- 上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。
戻るボタンまたは左ボタンで表示を戻すことができます。



3 上下ボタンで下限値を設定し、決定ボタンを軽く押す

上下ボタンで、0%、10%、20%、30%、40%、50%の中から選択できます



充放電の時間を設定する

通常運転時の充電開始／停止時刻、放電開始／停止時刻を設定できます。

運転モードが通常モードの場合、充電と放電タイマーの両方が設定できます。グリーンモードの場合、充電タイマーのみ設定できます。通常モードでは、充電タイマーは必ず設定してください。設定されていないと蓄電池の残量が空になり停止してしまいます。また、放電タイマーを「有効」に設定しなくても、負荷容量に合わせて放電（最大1.0kW）します。

運転モードがグリーンモードの場合、充電タイマー以外に充電上限SOCを設定できます。充電タイマー期間内のみ適用されます。充電タイマー期間外や運転モードが通常モードの場合は充電上限SOCは100%です。

運転モードを変更した場合は、充電タイマーの設定時間が正しい時間であることをご確認ください。

通常モードでは充電上限SOCは100%です。充電タイマーの設定時間外の充電上限SOCは100%です。

※周囲温度が低い場合、設定された充電タイマー時間内に100%にならない場合がありますが故障ではありません。

2台設置（増設）時には、両方の充電タイマーを同一の設定値で動作します。

工場出荷時	通常モード	： 充電タイマー（有効： 23:00～6:59）、放電タイマー（無効： 7:00～22:59）
	グリーンモード	： 充電タイマー（有効： 23:00～6:59）、充電上限SOC（50%）

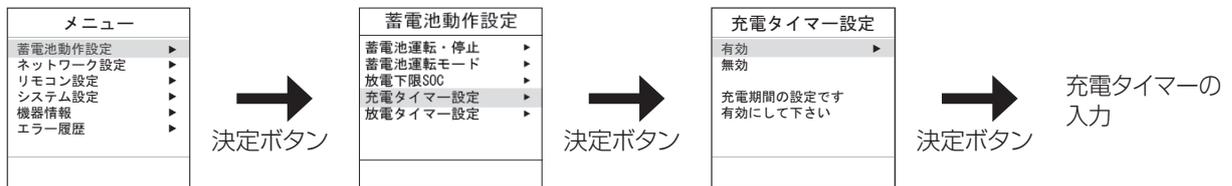
●充電タイマーの設定

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→蓄電池動作設定→充電タイマー設定から、充電タイマーの設定をする

グリーンモード時に設定不要の場合は「無効」を選択してください。

- 上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。
戻るボタンまたは左ボタンで表示を戻すことができます。



- 放電タイマーが無効もしくは有効のとき、充電タイマー設定では以下の画面が表示されます。

放電タイマー無効の場合

充電タイマー設定
23:00 → 06:59
電力価格の安い時間帯を設定して下さい

放電タイマー有効の場合

充電タイマー設定
23:00 → 06:59
電力価格の安い時間帯を設定して下さい
放電タイマー 07:00 ~ 22:59

グリーンモードの場合は、充電タイマー設定後に充電上限SOCを設定してください。
50～100%の範囲内において10%刻みで選択可能です。

充電上限SOC
▲ 100% ▼
タイマー動作時の充電上限です。太陽光からの充電には影響ありません

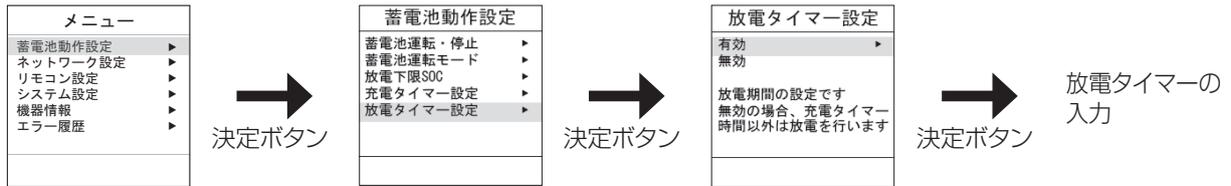
●放電タイマーの設定(通常モードのみ設定可能)

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→蓄電池動作設定→放電タイマー設定から、放電タイマーの設定をする

設定不要の場合は「無効」を選択してください。

- 上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。
戻るボタンまたは左ボタンで表示を戻すことができます。



- 充電タイマーが無効もしくは有効の時、放電タイマー設定では以下の画面が表示されます。

充電タイマー無効の場合

放電タイマー設定
07:00 -> 22:59
放電を行いたい時間帯を設定して下さい

充電タイマー有効の場合

放電タイマー設定
07:00 -> 22:59
放電を行いたい時間帯を設定して下さい
充電タイマー 23:00 ~ 06:59

充電タイマー時間と放電タイマー時間を重ねて設定した場合は、以下の警告を表示します。

- 充電タイマー設定の場合は、「放電タイマーと重複しない時間帯を設定して下さい」と表示します。
- 放電タイマー設定の場合は、「充電タイマーと重複しない時間帯を設定して下さい」と表示します。

充電タイマー設定の場合

注意
放電タイマーと重複しない時間帯を設定して下さい
充電タイマー 07:00 ~ 22:59

放電タイマー設定の場合

注意
充電タイマーと重複しない時間帯を設定して下さい
放電タイマー 23:00 ~ 06:59

PV自立引込電流を設定する

PVの自立引込電流を設定できます。

自立引込電流とは、停電時に太陽光発電用パワーコンディショナーの自立出力から供給することができる電流です。自立運転時に太陽光発電をしているにも関わらず、蓄電システムに充電出来ていない場合に、本設定を変更してください。

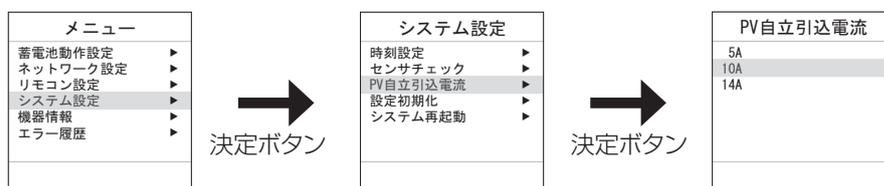
- 通常は設置工事時の値から設定を変更する必要はありません。
- 本設定は施工時に「補助入力なし」に設定した場合は変更出来ません。

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→システム設定→PV自立引込電流を選び、決定ボタンを軽く押す

設定の方法は、「5A」、「10A」または「14A」を選択します。

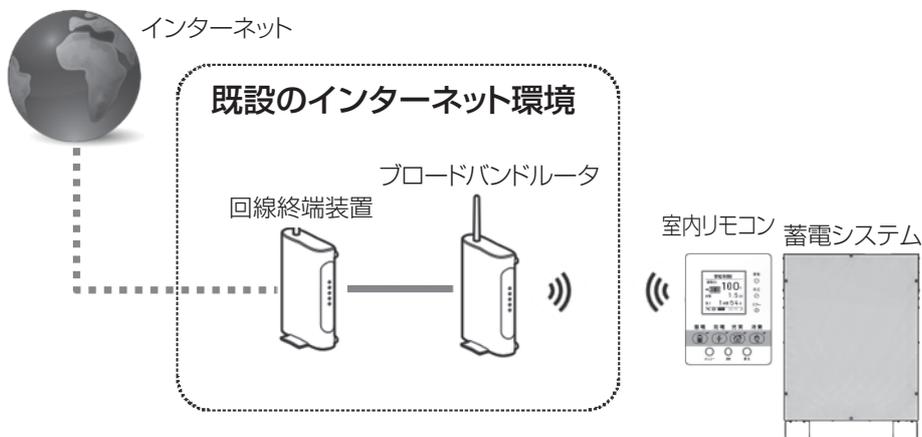
- ・上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。
戻るボタンまたは左ボタンで表示を戻すことができます。



ネットワークの設定をする

本システムを使用するにはインターネット接続が必須です。

ご使用前にご利用のネットワーク環境にあわせて無線LANルータに接続し、本システムのネットワーク設定を行ってください。無線LANルータの種類によって接続方法が異なります。



工場出荷時 ECHONET Lite設定: 取得のみ有効

●Wi-Fiの接続を設定する

室内リモコンをステーション(STA)モードで動作させ、アクセスポイント(AP)への接続設定を行います。

- 1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す
- 2 メニュー→ネットワーク設定→Wi-Fi接続設定から、それぞれの接続方法を設定する

- ・ 上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。
- 戻るボタンまたは左ボタンで表示を戻すことができます。



Wi-Fi接続設定は、「WPS-PBC接続」、「WPS-PIN接続」、「選択接続」、「手動接続」から選びます。

WPS-PBC接続	WPSプッシュボタン方式を使用し、無線LANルータとの接続設定を自動的に行います。
WPS-PIN接続	WPS PINコード方式を使用し、無線LANルータとの接続設定を自動的に行います。
選択接続	周囲のWi-Fiを検索し、接続先を選択して接続設定を行います。
手動接続	無線LANルータのSSID、接続するためのセキュリティ設定、パスワード、IP設定を行います。 スマートフォン等を利用して接続する場合は、この方法で接続設定を行います。

※WPSは、Wi-Fi Protected Setupの略で、無線LAN端末と簡単に無線接続させるための機能です。

無線LANルータに「WPS」「AOSS」「らくらく無線スタート」と表記されたボタンがある場合は、「WPS-PBC接続」を選択し接続を試みてください。上記のボタンがない場合は、「手動接続」を選択し接続を試みてください。「WPS-PIN接続」は、無線LANルータによってPINコードの入力方法が異なる為、入力方法がわかる場合のみ選択してください。設定の詳細は「無線LANルータとの接続手順」(➡ P.32～P.33)をご確認ください。

室内リモコンと無線LANルータとの接続が完了すると、室内リモコン画面に  が表示されます。

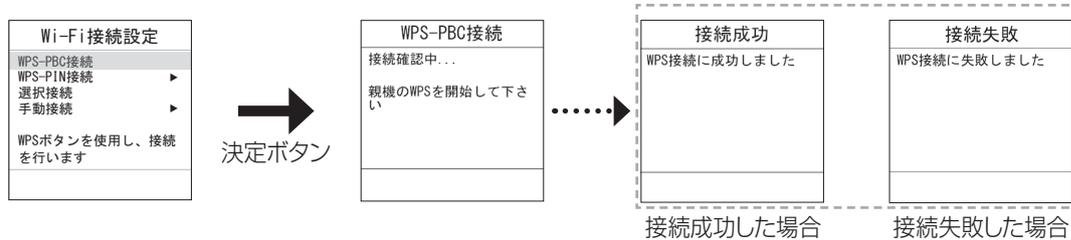
ネットワークの設定をする つづき

無線LANルータとの接続手順

●WPS-PBCを使用する場合

Wi-Fi接続設定から「WPS-PBC接続」を選び、決定ボタンを軽く押し、接続する無線LANルータとWPS接続を開始する

※無線LANルータ側のWPSを開始する方法は、お手持ちの無線LANルータの取扱説明書をご確認ください。

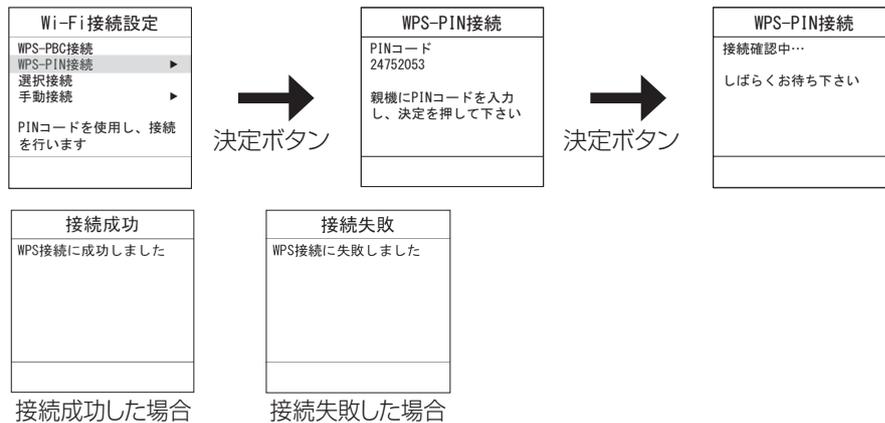


●WPS-PINを使用する場合

① Wi-Fi接続設定から「WPS-PIN接続」を選び、決定ボタンを軽く押す

② 表示された8桁のPINコードを無線LANルータに入力後、決定ボタンを軽く押し、WPS接続を開始する

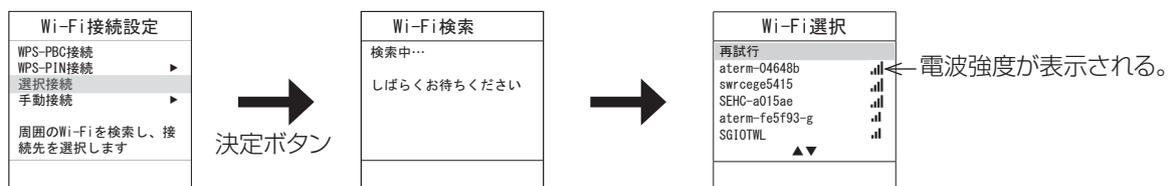
※無線LANルータ側のPINコード入力方法は、お手持ちの無線LANルータの取扱説明書をご確認ください。



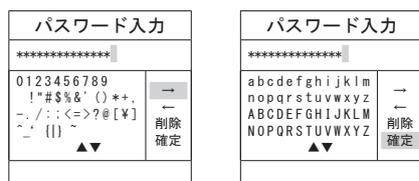
●選択接続する場合

① Wi-Fi接続設定から「選択接続」を選び、決定ボタンを軽く押す

② 上下ボタンで接続するアクセスポイントを選び、決定ボタンを軽く押す



③ セキュリティ設定が必要なアクセスポイントを選択した場合、パスワード入力画面になるので無線LANルータに記載のパスワードを入力し、「確定」にカーソルを合わせて決定を押す



④ IPの設定を行う

※基本的には「DHCP」を選択してください。「固定」を選択して正しい設定が行われなかった場合、ネットワークの接続ができなくなる可能性があります。

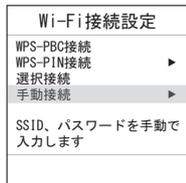


IP設定が「固定」の場合は、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の設定を行ってください。

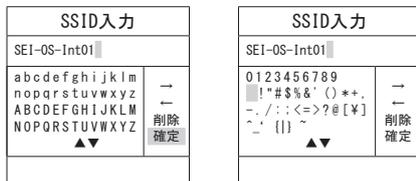


● 手動接続する場合

① Wi-Fi接続設定から「手動接続」を選び、決定ボタンを軽く押す

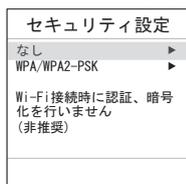


② 無線LANルータのSSIDを入力し、「確定」にカーソルを合わせて決定ボタンを軽く押す

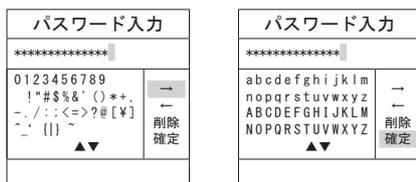


「アルファベット」と「数字・記号」の画面切り替えは、上下ボタンで移動します。

③ セキュリティ設定は、「なし」または「WPA/WPA2-PSK」を選び、決定ボタンを軽く押す



④ セキュリティ設定がWPA/WPA2-PSKの場合、無線LANルータに記載のパスワードを入力し、「確定」にカーソルを合わせて決定ボタンを軽く押す



「アルファベット」と「数字・記号」の画面切り替えは、上下ボタンで移動します。

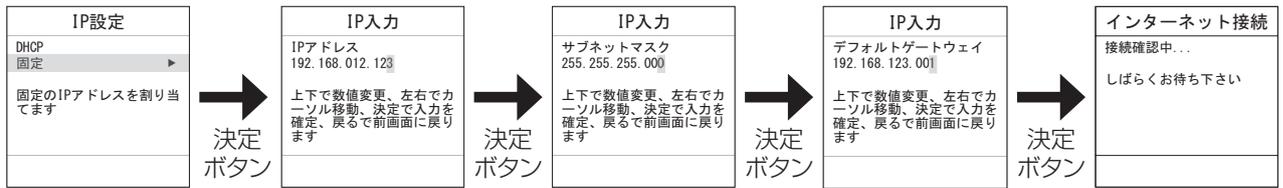
⑤ IPの設定を行う

※基本的には「DHCP」を選択してください。「固定」を選択して正しい設定が行われなかった場合、ネットワークの接続ができなくなる可能性があります。



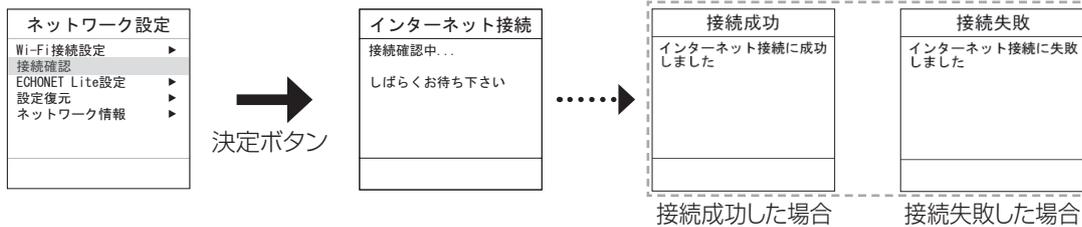
ネットワークの設定をする つづき

IP設定が「固定」の場合は、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の設定を行ってください。



インターネットとの接続手順

- ① 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す
- ② メニュー→ネットワーク設定→接続確認を選び、決定ボタンを軽く押す



※接続の確認には数分程度の時間がかかる場合があります。

※Wi-Fiが正しく接続ができていない場合は、室内リモコン表示画面右下(➡ P.15)の電波強度のアンテナが表示されます。また、ネットワーク情報(➡ P.35)のSSID、IPアドレスに接続情報が表示されます。

※接続に失敗した場合、「Wi-Fiに接続出来ない状態が継続しています」または「インターネットに接続出来ない状態が継続しています」のメッセージが表示されます。対処方法については「NO2 Wi-Fiに接続出来ない状態が継続しています」または「NO3 インターネットに接続出来ない状態が継続しています」(➡ P.47)をご確認ください。

●ネットワーク設定にあたってのお知らせ事項

ネットワーク設定に伴い、本製品の保守・品質改善を目的として、ネットワークを介して、製造元またはその委託先から機器稼働状況などのデータを定期的に収集させていただくことが可能になります。なお、この中にはお客様を特定できる個人情報は一切含まれません。収集・保管させていただくデータは製品の保守・品質改善の目的のみに使用し、保管先において適切に管理を行います。

●ECHONET Liteの接続を設定する

メニュー→ネットワーク設定→ECHONET Lite設定を選び、決定ボタンを軽く押し、「全て有効」、「無効」、「取得のみ有効」を設定する

有効にすることでECHONET Lite対応のコントローラと接続が可能です。



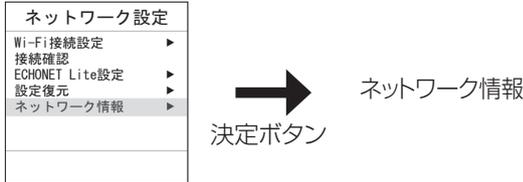
※ECHONET Liteは、エコーネットコンソーシアムが策定したHEMS(Home Energy Management System)の通信規格です。ECHONET Lite対応機器から充電・放電の制御を受け付けることができます。操作方法に関しては対応機器の取扱説明書をご確認ください。ECHONET Lite Ver.1.13、Appendix Release MIに対応しています。

ネットワークの設定を確認する

ネットワークの接続やIPアドレスの設定、ネットワーク情報の確認ができます。

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→ネットワーク設定→ネットワーク情報を選び、決定ボタンを軽く押す



3 上下ボタンで確認する情報を選ぶ

ネットワークの情報を確認できます。

ネットワーク情報	ネットワーク情報	ネットワーク情報
SSID eoRT-178eoRT-g	IPアドレス 192.168.179.3 サブネットマスク 255.255.255.0 デフォルトGW 192.168.179.1	識別番号(ノード) FE00003D0100217E1075100 EF001000000 識別番号(蓄電池) FE00003D0100217E1075100 27D01000000

SSID	Wi-Fiにおける親機(アクセスポイント)の識別名です。接続先のルータのSSIDが表示されます。
MACアドレス	ネットワーク機器のハードウェアとしてのアドレスです。変更することはできません。
IPアドレス	ネットワーク上の機器を識別するためのアドレスです。
サブネットマスク	IPアドレスのうちネットワークアドレスとホストアドレスを識別するための数値です。
デフォルトゲートウェイ(GW)	内部のネットワークから、外部にあるネットワークに通信を行う場合の出入り口の役割を果たすように設定されたルータ等のアドレスです。
識別番号(ノード)*	ECHONET Liteのノードプロファイル(ECHONET Lite対応端末についての共通情報を管理するオブジェクト)を識別するためのIDです。
識別番号(蓄電池)*	ECHONET Liteの蓄電池クラス(ECHONET Lite対応端末についての蓄電池情報を管理するオブジェクト)を識別するためのIDです。

*ECHONET Liteの設定が「設定・取得有効」または「取得のみ有効」に変更時に表示されます。(➡ P.34)

4 戻るボタンを軽く押して終了する

画面表示や操作音の設定を変える

画面の点灯時間やコントラスト、操作音、時刻表示などを、お好みで調整できます。

工場出荷時	LCD点灯設定	: 1分
	LCDコントラスト	: Lv5
	ブザー音量設定	: 小
	キー操作音設定	: 有り
	時刻表示設定	: 24時間表示

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→「リモコン設定」を選び、決定ボタンを軽く押す

メニュー	
番電池動作設定	▶
ネットワーク設定	▶
リモコン設定	▶
システム設定	▶
機器情報	▶
エラー履歴	▶

3 上下ボタンで設定する項目を選ぶ

次の設定ができます。

LCD点灯設定	LCDを操作していない場合に、画面が消灯するまでの時間を「1分」「5分」「10分」の3つから設定できます。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">リモコン設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LCD点灯設定</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>LCDコントラスト</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>ブザー音量設定</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>キー操作音設定</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>時刻表示設定</td> <td>▶</td> </tr> </tbody> </table>	リモコン設定		LCD点灯設定	▶	LCDコントラスト	▶	ブザー音量設定	▶	キー操作音設定	▶	時刻表示設定	▶	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">LCD点灯設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▲</td> <td>10分</td> </tr> <tr> <td>▼</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">LCD消灯までの時間を設定します</td> </tr> </tbody> </table>	LCD点灯設定		▲	10分	▼		LCD消灯までの時間を設定します					
リモコン設定																											
LCD点灯設定	▶																										
LCDコントラスト	▶																										
ブザー音量設定	▶																										
キー操作音設定	▶																										
時刻表示設定	▶																										
LCD点灯設定																											
▲	10分																										
▼																											
LCD消灯までの時間を設定します																											
LCDコントラスト設定	LCDの文字の濃淡を10段階で調整できます。「Lv0」(薄い)…「Lv5」…「Lv9」(濃い)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">リモコン設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LCD点灯設定</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>LCDコントラスト</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>ブザー音量設定</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>キー操作音設定</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>時刻表示設定</td> <td>▶</td> </tr> </tbody> </table>	リモコン設定		LCD点灯設定	▶	LCDコントラスト	▶	ブザー音量設定	▶	キー操作音設定	▶	時刻表示設定	▶	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">LCDコントラスト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▲</td> <td>Lv 9分</td> </tr> <tr> <td>▼</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">LCDのコントラストを調整します</td> </tr> </tbody> </table>	LCDコントラスト		▲	Lv 9分	▼		LCDのコントラストを調整します					
リモコン設定																											
LCD点灯設定	▶																										
LCDコントラスト	▶																										
ブザー音量設定	▶																										
キー操作音設定	▶																										
時刻表示設定	▶																										
LCDコントラスト																											
▲	Lv 9分																										
▼																											
LCDのコントラストを調整します																											
ブザー音量設定	ブザーの鳴動音量を「なし」、「小」、「中」、「大」の4段階で設定できます。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">リモコン設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LCD点灯設定</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>LCDコントラスト</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>ブザー音量設定</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>キー操作音設定</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>時刻表示設定</td> <td>▶</td> </tr> </tbody> </table>	リモコン設定		LCD点灯設定	▶	LCDコントラスト	▶	ブザー音量設定	▶	キー操作音設定	▶	時刻表示設定	▶	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">ブザー音量設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">ブザーの音量を調整します</td> </tr> </tbody> </table>	ブザー音量設定		なし		小		中		大		ブザーの音量を調整します	
リモコン設定																											
LCD点灯設定	▶																										
LCDコントラスト	▶																										
ブザー音量設定	▶																										
キー操作音設定	▶																										
時刻表示設定	▶																										
ブザー音量設定																											
なし																											
小																											
中																											
大																											
ブザーの音量を調整します																											
キー操作音設定	キー操作時のブザー鳴動を「あり」「なし」で設定できます。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">リモコン設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LCD点灯設定</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>LCDコントラスト</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>ブザー音量設定</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>キー操作音設定</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>時刻表示設定</td> <td>▶</td> </tr> </tbody> </table>	リモコン設定		LCD点灯設定	▶	LCDコントラスト	▶	ブザー音量設定	▶	キー操作音設定	▶	時刻表示設定	▶	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">キー操作音設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">キー操作音を使用するかどうかを設定します</td> </tr> </tbody> </table>	キー操作音設定		あり		なし		キー操作音を使用するかどうかを設定します					
リモコン設定																											
LCD点灯設定	▶																										
LCDコントラスト	▶																										
ブザー音量設定	▶																										
キー操作音設定	▶																										
時刻表示設定	▶																										
キー操作音設定																											
あり																											
なし																											
キー操作音を使用するかどうかを設定します																											
時刻表示設定	時刻表示を「24時間表示」、「am/pm表示」で設定できます。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">リモコン設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LCD点灯設定</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>LCDコントラスト</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>ブザー音量設定</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>キー操作音設定</td> <td>▶</td> </tr> <tr> <td>時刻表示設定</td> <td>▶</td> </tr> </tbody> </table>	リモコン設定		LCD点灯設定	▶	LCDコントラスト	▶	ブザー音量設定	▶	キー操作音設定	▶	時刻表示設定	▶	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">時刻表示設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24時間表示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>am/pm表示</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">時刻の表示形式を設定します</td> </tr> </tbody> </table>	時刻表示設定		24時間表示		am/pm表示		時刻の表示形式を設定します					
リモコン設定																											
LCD点灯設定	▶																										
LCDコントラスト	▶																										
ブザー音量設定	▶																										
キー操作音設定	▶																										
時刻表示設定	▶																										
時刻表示設定																											
24時間表示																											
am/pm表示																											
時刻の表示形式を設定します																											

日時を設定する

現在の日時は、自動または手動で現在時刻を設定できます。
手動を選択した場合、20YY/MM/DD hh:mmの形式で時刻入力を行えます。
設定可能範囲は2020/01/01 00:00~2050/12/31 23:59です。

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→システム設定→現在時刻設定を選び、決定ボタンを軽く押す

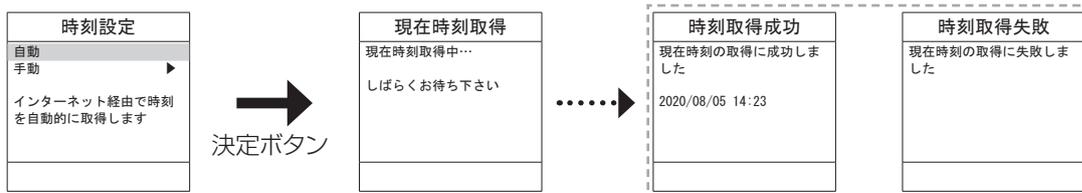
設定の方法は、「自動」または「手動」を選択します。

- 上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。
戻るボタンまたは左ボタンで表示を戻すことができます。



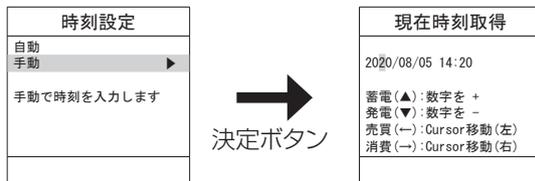
●自動を選択した場合

インターネット経由で現在時刻情報を取得します。



●手動を選択した場合

現在の時刻を手動で入力します。



- 手動を選択して時刻設定を行った場合、長年使用されると進みや遅れが生じることがあります。定期的に修正することをおすすめします。現在時刻に進みや遅れが生じると、割高な電気料金で充電を行ってしまう等の問題が発生してしまいます。

設定を初期化する

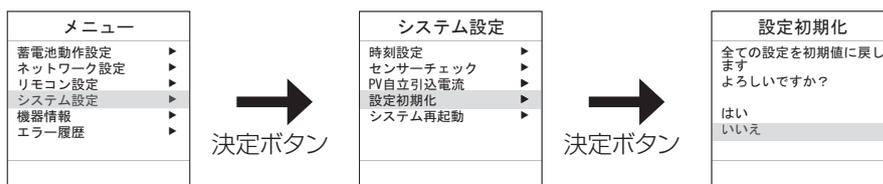
システムの設定を初期化できます。

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→システム設定→設定初期化を選び、「はい」を選ぶ

「いいえ」を選ぶと初期化をキャンセルして終了します。

- 上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。
戻るボタンまたは左ボタンで表示を戻すことができます。



3 初期化が始まります

下記項目が初期化されます。

蓄電池設定	初期化後の値(初期値)
運転・停止状態	停止
蓄電池運転モード	通常モード
放電下限SOC	30%
充電タイマー情報(通常モード時)	有効/23:00~6:59
充電タイマー情報(グリーンモード時)	有効/23:00~6:59、充電上限SOC/50%
放電タイマー情報(通常モード時)	無効/7:00~22:59
リモコン設定	初期化後の値(初期値)
LCD点灯設定	1分
LCDコントラスト	Lv5
ブザー音量設定	小
キー操作音量設定	有り
時刻表示設定	24時間表示
ECHONET Lite情報	初期化後の値(初期値)
ECHONET Lite設定	取得のみ有効
システム設定	初期化後の値(初期値)
PV自立引込電流	10A ※施工時に設定変更された場合、変更値後の値(初期値)

機器情報を確認する

機器が持っている情報や設定内容を確認できます。

- 1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す
- 2 メニュー→機器情報を選び、決定ボタンを軽く押す

メニュー	
蓄電池動作設定	▶
ネットワーク設定	▶
リモコン設定	▶
システム設定	▶
機器情報	▶
エラー履歴	▶

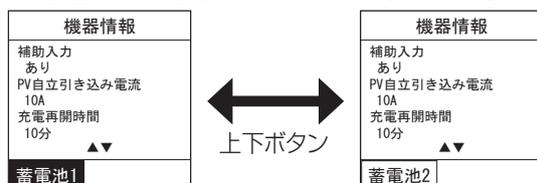
- 3 上下ボタンで確認する項目を選ぶ

次の内容が確認できます。

機器情報	機器情報	機器情報	機器情報	機器情報	機器情報
リモコン 製造番号 12XY56789 リモコン S/W Ver. R2M_00.001	本体接続台数 2台 自立接続方法 直列接続 モデル PDS-1500S02	契約設定 シングル 発電CT / 補足CT あり / あり	太陽光発電 あり / 1.5kW 太陽光以外の発電装置 あり 契約容量 60A	補助入力 あり PV自立引き込み電流 10A 充電再開時間 10分	設置日 2022/11/11 本体 製造番号 19AE01012 本体 S/W Ver. PD4_EMUL
交流過電圧検出 115.0V 1.0秒 交流不足電圧検出 80.0V 1.0秒	周波数上昇検出 51.0 / 61.2Hz 1.0秒 周波数低下検出 47.5 / 57.0Hz 2.0秒	復帰時遮断装置投入 300秒	系統電流 U: 15A W: 15.6A 系統電圧 U: 101.8V W: 101.6V	発電CT電流 1.0A 補足CT電流 1.0A	

●2台設置の場合

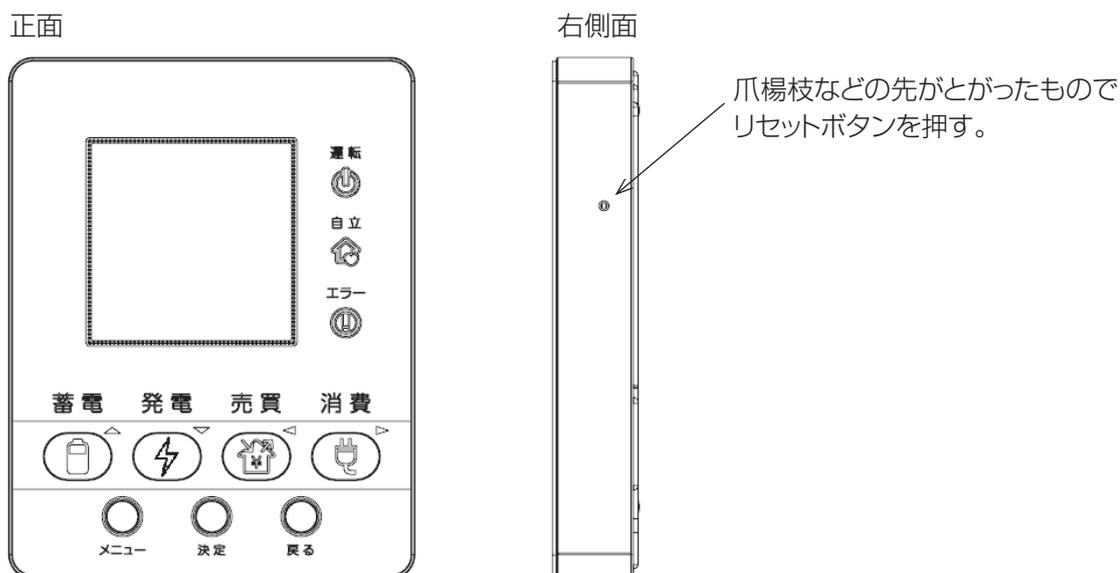
蓄電池1と蓄電池2を2シートに分けて表示します。



室内リモコンをリセットする

室内リモコンのマイコンをリセットすることができます。室内リモコンが動かなくなったときに行ってください。リセットボタンを短押し(1秒未満)をすると蓄電システムが再起動します。起動には数秒かかります。また、リセットボタンを5秒程度長押しすると、蓄電システムに記録している以下のデータを、工場出荷時の値に初期化することができます。

- ・ 時刻設定
- ・ 積算電力データ(日毎)
- ・ 「設定を初期化する」(➡ P.38)で初期化される項目



メニューから設定できる項目

第一階層(メニュー)	第二階層(メニュー)	第三階層(メニュー)
蓄電池動作設定	蓄電池運転・停止	運転、停止
	蓄電池運転モード	通常モード
		グリーンモード (シングル契約のみ設定可能)
		緊急充電モード
	放電下限SOC	0%、10%、20%、30%
		40%、50%
充電タイマー設定	無効、有効 (タイマー設定有効かつグリーンモードの場合、充電上限SOCの設定も可能)	
放電タイマー設定	無効、有効 (グリーンモードは設定できません)	
ネットワーク設定	Wi-Fi接続設定	WPS-PBC接続
		WPS-PIN接続(PINコード入力)
		選択接続
		手動接続 (SSID、パスワード、IP設定)
	接続確認	—
	ECHONET Lite設定	無効、取得のみ有効、設定・取得有効
	設定復元	いいえ、はい
	ネットワーク情報	—
リモコン設定	LCD点灯設定	1分、5分、10分
	LCDコントラスト	Lv0(薄い)~LV9(濃い)
	ブザー音量設定	なし、小、中、大
	キー操作音設定	なし、あり
	時刻表示設定	24時間表示、am/pm表示
システム設定	現在時刻設定	自動、手動
	センサーチェック	いいえ、はい
	PV自立引込電流	5A、10A、14A (補助入力設定ありの場合、設定可能)
	設定初期化	いいえ、はい
	システム再起動	いいえ、はい
機器情報	—	—
エラー履歴	—	—

こんなときは

ブザーが鳴ったとき

ブザーが鳴ったときは、室内リモコンの画面に表示されるメッセージの内容にしたがって、処置してください。

機器から発生する音について

以下の音は本製品の異常ではありません。

ジージー音	製品内部の回路が動作するときに発生する音です。
チリチリ音	
チャリチャリ音	
カチャ音	製品内部の機械部分が動作するときに発生する音です。 (運転開始時と、停止時に発生します)

- 運転時の高周波音はまれに、聴覚感度が高い方にとっては不快に感じる場合があります。

アンペアブレーカが頻繁に作動する場合

100Aまでのアンペアブレーカが設置されているご家庭で、アンペアブレーカが頻繁に作動する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

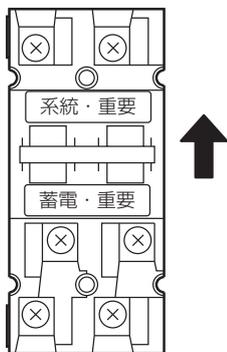
アンペアブレーカの容量を変更する場合

アンペアブレーカの容量を変更する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

蓄電システムが停止した(停止させる)場合

■ 切替スイッチが手動の場合

- 分電盤内の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしてください。
分電盤内に「蓄電システム」のシールが貼ってあります。
- 分電盤内の特定コンセント用切替スイッチを「系統」側にしてください。
※蓄電システムが停止すると、特定コンセントへは給電されません。必ず、「系統」側への切り替えを行ってください。



スイッチを上にあげて、「系統」側に切り替える。

※蓄電システムの故障時以外は、契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ及び、蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしないでください。長期間放置されると蓄電池が充電されないため、使用できなくなる可能性があります。蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしたまま、長期間放置される場合は、お買い上げの販売会社またはコールセンター(0120-690-285)へご連絡ください。

■ 切替スイッチが自動もしくは使用しない場合

- 特別な操作は必要ありません。

特定回路に接続しているブレーカが頻繁に作動する場合

特定回路の定格出力は1500Wです。接続している家電製品を減らす等、定格を超えないように工夫してください。本体周囲温度が高温または低温時にご使用される際は、電池保護のため放電出力が定格より小さくなる場合があります。接続している家電製品をさらに減らしてください。なお、通常の系統連系運転においても本体周囲温度が高温または低温時には、電池保護のため充放電出力が定格より小さくなる場合があります。

停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合

●停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合には、蓄電システムが停止します。停止した状態が続くと本体保護でシステムがシャットダウンします。シャットダウンした場合は、お買い上げの販売会社またはコールセンター（0120-690-285）へご連絡ください。

■ 太陽光発電の自立出力が蓄電システムに接続されている場合

「停電になったときは」(➡ P.24)と同様に、太陽光発電を自立運転に切り替えます。太陽光発電から蓄電システムに電力が供給されると、自動で充電が開始されます。

1. 太陽光発電を自立運転に切り替えてください。
2. 特定コンセントからすべての機器を外してください。
3. 電力が太陽電池から供給されると、自動で充電が開始されます。

※運転が開始しない場合は、室内リモコンで運転が開始されていることを確認してください。(➡ P.19)

■ 太陽光発電の自立出力が蓄電システムに接続されていない場合

停電から復旧すると自動で充電を開始します。電池残量が10%に到達すると強制充電を終了します。

※充電されない場合は、蓄電システム用ブレーカが「OFF」になっていないか確認してください。

室内リモコンの画面が表示されない場合

●停電状態以外で、室内リモコン画面が表示されない場合は、室内リモコンが故障している可能性があります。お買い上げの販売会社またはコールセンター（0120-690-285）へご連絡ください。

●停電状態で、室内リモコン画面が表示されない場合は、蓄電池残量がない場合も考えられます。

「停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合」(➡ P.24)の処置を行っても室内リモコンが表示されない場合は、お買い上げの販売会社またはコールセンター（0120-690-285）へご連絡ください。

長期不在の場合

●長期不在の場合でも、通常の連系運転(➡ P.19)で運転したまま、蓄電システム用分電盤の「蓄電システム用ブレーカ」と一般負荷分電盤の「契約ブレーカ」と「主幹ブレーカ」は「OFF」にしないでください。

こんなエラーが出たときは

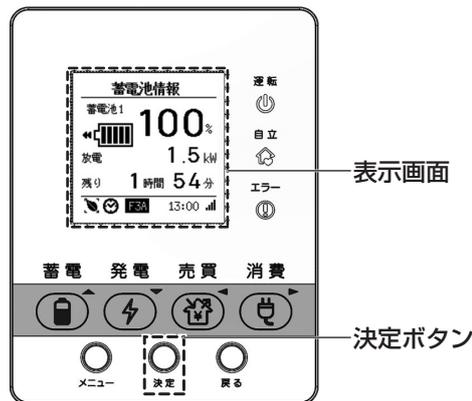
エラーコードが表示された場合、エラー音が出ます。決定ボタンを1回軽く押すと、その都度エラー音を消すことができます。

エラー・お知らせ発生時の室内リモコンの状態

- 室内リモコンからエラー音になります。(「エラーの種類」(→ P.46)のエラー音参照)
- 室内リモコンの赤エラーLEDが点灯します。
- ホーム画面にエラーコードが出ます。

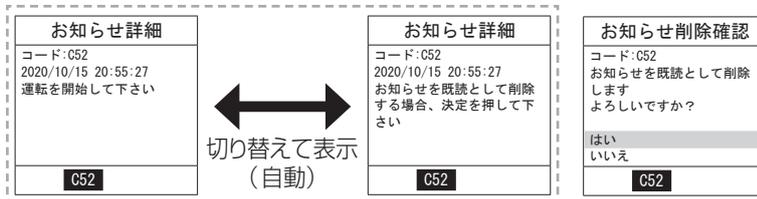
表示について

室内リモコン



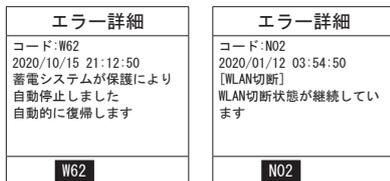
●お知らせ表示(Cxx)

この表示が出ても故障ではありません。メッセージの内容をご確認の上、決定ボタンで削除することが可能です。



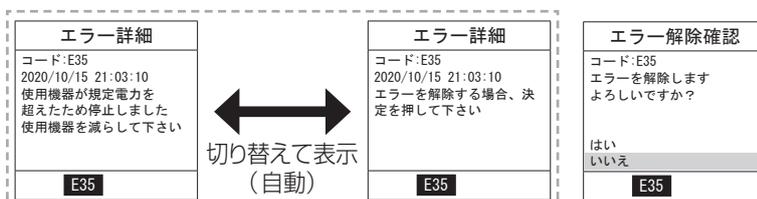
●エラー表示(Wxx、Nxx)

この表示が出ても故障ではありません。詳細表示は、いずれかの操作ボタンを軽く押すと終了します。



●エラー表示(Exx)

この表示が出ても故障ではありません。エラーの内容を確認の上、解除することが可能です。エラー詳細画面で決定ボタンを軽く押し、エラーを解除することが可能です。



●エラー表示(Rxx)

この表示が出たら故障です。お買い上げの販売会社またはコールセンター(0120-690-285)へご連絡ください。

初期通信エラー
コード:R01
【接続機器なし】 機器を接続して下さい 接続している場合、通信ケーブルに異常等がないか、 ご確認下さい
R01

●エラー表示(Fxx、W62)

この表示が出たら故障です。お買い上げの販売会社またはコールセンター(0120-690-285)へご連絡ください。ただし、「W62」は本体との通信が回復次第、自動的に復帰します。メッセージが継続して発生する場合は、お買い上げの販売会社またはコールセンター(0120-690-285)へご連絡ください。詳細表示は、いずれかの操作ボタンを軽く押すと終了します。

エラー詳細	エラー詳細
コード:F54 2020/10/15 21:07:58 蓄電システムが低温により 自動停止しました お買い上げの販売店へ ご連絡下さい	コード:W62(電池1) 2020/12/25 17:03:52 蓄電システムが保護により 自動停止しました 自動的に復帰します
F54	W62

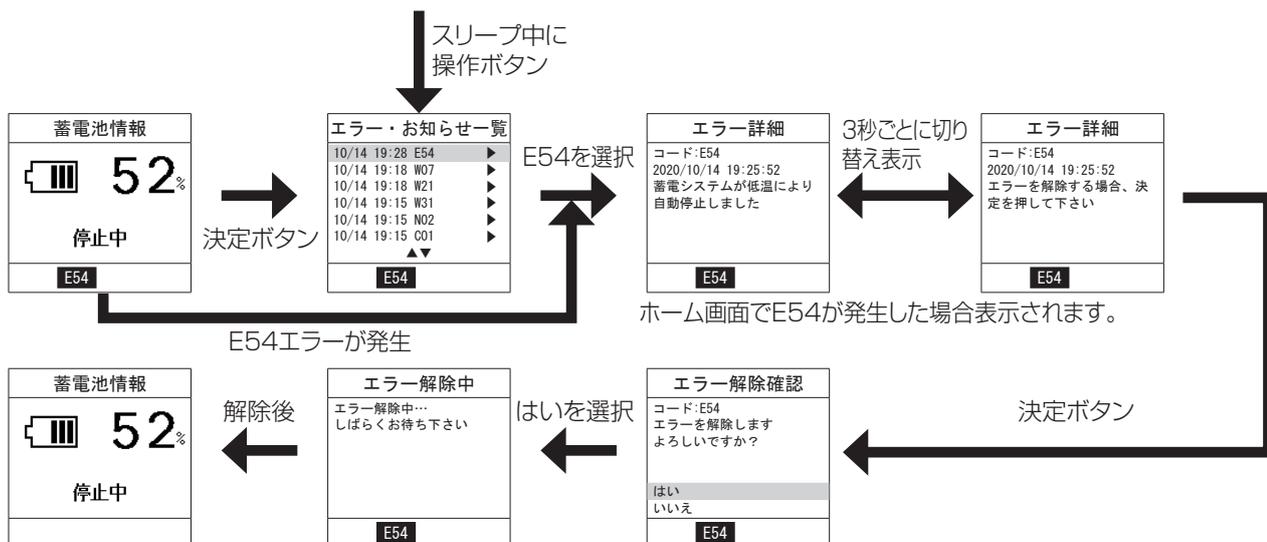
エラーを解除する

エラーコード「Cxx」、エラーコード「Exx」は解除可能です。エラーコード「Wxx」は自動復帰します。エラーコード「Fxx」は販売店またはコールセンター(0120-690-285)へご連絡してください。

※「xx」には、0~9とA~Z(英数字)が入ります。

●エラーコードの削除フロー

例)「E54」を削除



こんなエラーが出たときは つづき

エラーの種類

エラーには次の種類があります。エラーコードが表示された場合、エラー音が出ます。決定ボタンを軽く押すと、その都度エラー音を消すことができます。

エラーコード	参考イメージ	内容および処置	エラー音
Fxx	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エラー詳細</p> <p>コード:Fxx 2019/01/01 23:59:59</p> <p>メッセージ</p> </div>	お客様では復帰できないエラーです。分電盤内の特定コンセント用切替スイッチを「系統」に切り替え、お買い上げの販売会社またはコールセンター(0120-690-285)へご連絡ください。	ピピピピピ...
Exx	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エラー詳細</p> <p>コード:Exx 2019/01/01 23:59:59</p> <p>メッセージ</p> </div>	お客様で復帰可能なエラーです。決定ボタンを軽く押して表示されるメッセージにしたがって操作してください。エラーを解除すると運転動作が再開されます。	ピピピーピピピーピピピー
Rxx	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">初期通信エラー</p> <p>コード:Rxx</p> <p>メッセージ</p> </div>	室内リモコンの異常です。お客様では復帰できないエラーです。お買い上げの販売会社またはコールセンター(0120-690-285)へご連絡ください。	ピピーピピーピピー
Nxx	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">お知らせ詳細</p> <p>コード:Nxx 2019/01/01 23:59:59</p> <p>メッセージ</p> </div>	ネットワークの接続に異常が発生しています。「注意メッセージの内容と処置」(→P.47)の記述にしたがって処置を行ってください。	—
Wxx	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エラー詳細</p> <p>コード:Wxx 2019/01/01 23:59:59</p> <p>メッセージ</p> </div>	警告です。エラーコードに応じたメッセージが表示されます。「W62」の場合: 本体との通信が回復次第、自動的に復帰します。メッセージが継続して発生する場合は、お買い上げの販売会社またはコールセンター(0120-690-285)へご連絡ください。	ピピーピピーピピー
Cxx	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">お知らせ詳細</p> <p>コード:Cxx 2019/01/01 23:59:59</p> <p>メッセージ</p> </div>	お知らせです。故障ではありません。エラーコードに応じたメッセージが約3秒ごとに切り替わり表示されます。(エラーコードに応じたメッセージがない場合は表示されません)	ピピーピピーピピー
複数エラー発報 (Fxx、Exx、Rxx、 Wxx、Nxx、Cxx)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エラー・お知らせ一覧</p> <p>Fxx ▶</p> <p>Exx ▶</p> <p>Exx ▶</p> <p>Wxx ▶</p> <p>Wxx ▶</p> <p>Cxx ▶</p> </div>	画面下部にエラーコードが表示されており、ホーム画面を表示している場合、決定ボタンを軽く押すと発生中のエラー・お知らせ一覧に遷移します。 ●ホーム画面への表示は、優先度の高いエラーを表示します。 優先度高い 優先度低い Rxx→Fxx→Exx→Wxx→Nxx→Cxx	ピーピーピー

お買い上げの販売会社またはコールセンター(0120-690-285)へご連絡していただく際には、画面に表示されるエラーの種類、点検コードもご連絡ください。

メッセージの種類

■異常メッセージの内容と処置

警告メッセージ	内容または処置
W30、W50、W52	蓄電池を充電してください。 下記に記載した点が問題ないにも関わらず本警告が出力される場合は、お買い上げの販売会社またはコールセンター(0120-690-285)にご連絡ください。 ●確認項目 <ul style="list-style-type: none"> 蓄電池が運転している(運転アイコンの点灯➡ P.14) その他のエラーが出力されていない(こんなエラーがでたときは➡ P.44) 蓄電システム用ブレーカが「ON」になっている
W35、E35、E37	消費電力が大きい機器のご使用をお控えください。
W41	本体内部の温度センサが-10℃未満を感知すると表示されます。 -10℃以上になると自動的に復帰します。
W42	本体内部の温度センサが+40℃超過を感知すると表示されます。 +40℃以下になると自動的に復帰します。 周囲に熱源がないか、直射日光にさらされていないか確認してください。 またヒートシンクカバーに異物が詰まっている可能性がある場合は、ヒートシンクカバー(➡ P.48)内の手順を参考に異物が詰まっていないかを確認してください。 直射日光にさらされていた場合はオプション品の日よけを取り付けてください。
W62	システム運転中に本体と室内リモコンの通信が切断されました。 自動復帰しない場合は、お買い上げの販売会社またはコールセンター(0120-690-285)へご連絡ください。

■注意メッセージの内容と処置

注意メッセージ	内容または処置
C09	初回設置日から9年が経過しました。
C10	初回設置日から10年が経過しました。
C12	消費電力が大きい機器のご使用をお控えください。
C30	電池残量が少なくなっているので充電してください。残量が0%になると自動的に放電を停止します。
C50	復電しました。手動切替スイッチをご使用の場合は、分電盤内の特定コンセント用切替スイッチを「系統」側にしてください。
C51	停電が発生しました。手動切替スイッチをご使用の場合は、分電盤内の特定コンセント用切替スイッチを「蓄電」側にしてください。
C52	蓄電池の電圧が低下しています。室内リモコンの運転開始操作を行ってください。
N02	Wi-Fiに接続出来ない状態が継続しています。 ご使用の無線LANルータを再起動してください。 Wi-Fiルータの電波状況を確認して電波強度を確認してください。 ネットワークの設定を実施してください。 それでも症状が発生する場合は、お買い上げの販売会社またはコールセンター(0120-690-285)へご連絡ください。
N03	インターネットに接続出来ない状態が継続しています。 蓄電システムと無線接続している、無線LANルータからインターネットに接続できるか確認してください。 (パソコン等でインターネットに接続できるか確認してください) 問題があれば、加入しているプロバイダーにご相談ください。 インターネット接続に問題がない場合は、ネットワークの設定を実施してください。 それでも症状が発生する場合は、お買い上げの販売会社またはコールセンター(0120-690-285)へご連絡ください。

点検

■ 風水害または地震時の対応

- 風水害時に水没のおそれがあるときは、蓄電システム用ブレーカを「OFF」にし、あらかじめ運転を止めてください。
- また、水没した場合には、蓄電システム用ブレーカを「OFF」にし、運転を止めた状態でお買い上げの販売会社またはコールセンター(0120-690-285)へご連絡ください。
- 地震の場合は、被害状況に応じて、お買い上げの販売会社またはコールセンター(0120-690-285)へご連絡ください。

● 特定コンセント用切替スイッチがある場合

※蓄電システム用ブレーカを「OFF」にした場合は、必ず特定コンセント用切替スイッチを「系統」側にしてください。特定コンセント用切替スイッチはオプションになります。

● 掃除方法

● 表面の汚れが目立つ場合

表面が汚れた場合、汚れが目立つ部分をタオルで水拭きしたあと、乾いたタオルで空拭きしてください。

※薬品・洗剤等は使用しないでください。

● ヒートシンクカバーに異物が詰まった場合(日よけ無し)

※蓄電システムは運転中は高温になっているため、作業前に必ず蓄電システムを停止(停止手順: ➔ P.20)させ、30分以上経過したあと、下記手順でヒートシンクカバー内の確認・清掃を行ってください。

[参考図: ヒートシンクカバー]

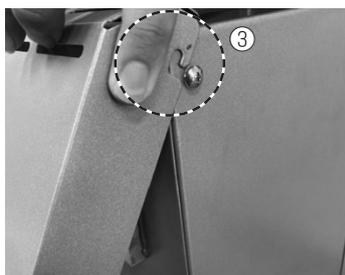


1. 蓄電システムを停止する。(停止手順: ➔ P.20)

30分以上経過したあと、手順2に移ってください。

2. 左右両面の上ネジ(①)は少し緩め、下ネジ(②)は取り外し、③のようにヒートシンクカバーを取り外す。

3. カバー内の異物を取り除き、アルミ板にも異物が付着していないか確認し、汚れている場合は乾いたタオルで空拭きする。



<清掃後、ヒートシンクカバーの取り付け方>

1. ヒートシンクカバーを左右の上ネジ(④)に引っ掛ける。



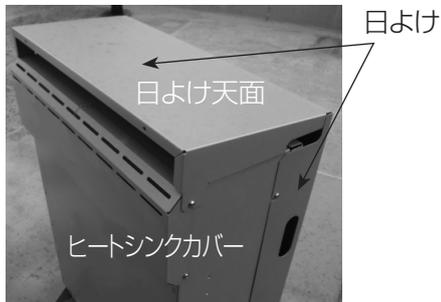
2. ヒートシンクカバー取り付けたあと、上ネジ(⑤)と下ネジ(⑥)をドライバーで固定する。



3. 蓄電システムの運転(開始手順: ➔ P.19)を開始する。

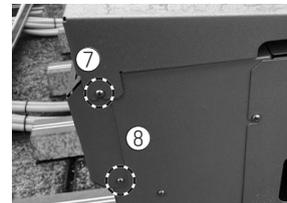
• ヒートシンクカバーに異物が詰まった場合(日よけあり)

※蓄電システム運転中は高温になっているため、作業前に必ず蓄電システムを停止(停止手順:➡ P.20)させ、30分以上経過したあと、下記手順でヒートシンクカバー内の確認・清掃をしてください。
日よけが付いている場合、日よけ天面を外したあと、ヒートシンクカバーを外してください。
取り付けの際は、ヒートシンクカバーを付けたあと、日よけ天面を設置します。

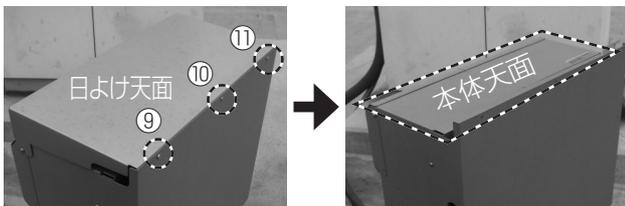


1. 蓄電システムを停止する。(停止手順: ➡ P.20)
30分以上経過したあと、手順2に移ってください。

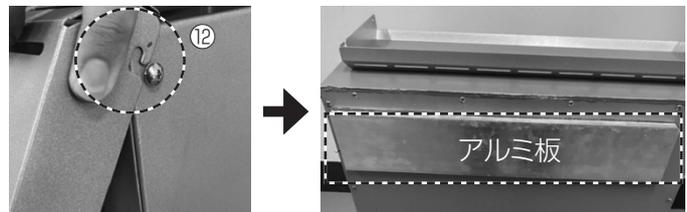
2. 左右両面の上ネジ(⑦)は少し緩め、下ネジ(⑧)を取り外す。



3. ネジ(⑨、⑩、⑪)を外し、日よけ天面を外す。



4. ヒートシンクカバーを⑫のように取り外したあと、カバー内の異物を取り除き、アルミ板に異物が付着していないか確認し、アルミ板が汚れている場合は乾いたタオルで空拭きする。



<清掃後、ヒートシンクカバーの取り付け方>

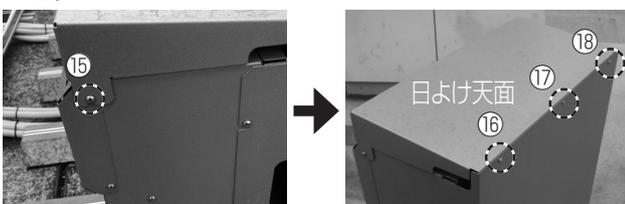
1. ヒートシンクカバーを左右の上ネジ(⑬)に引っ掛ける。



2. ヒートシンクカバー取り付けたあと、下ネジ(⑭)をドライバで固定する。



3. 日よけ天面を設置したあと、上ネジ(⑮)とネジ(⑯、⑰、⑱)を締める



4. 蓄電システムの運転(開始手順: ➡ P.19)を開始する。

停電時の家電製品の利用について

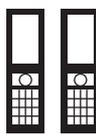
■ 特定コンセントの定格出力は、AC100V、1500VA(1500W)です

電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、特定コンセントに定格(1500VA)を超える電流が流れると、内部の安全装置が作動し、室内リモコンにメッセージを表示して、特定コンセントへの給電をストップします。使用温度範囲内であっても蓄電池残量によっては蓄電池の保護のため、最大出力を取り出せない場合があります。下記の家電製品の特定コンセントへの接続は避ける、または注意してください。

途中で電源が切れると困る家電製品	接続禁止	医療機器、デスクトップ型パソコン等
突入電流が大きい家電製品	動作しない場合がある	掃除機、遠赤外線ヒーター、冷蔵庫、エアコン、電動工具、洗濯機、オーディオ用等の電源アイソレータ等
消費電力が大きい家電製品	動作しない場合がある	電子レンジ、電気ストーブ、電気アイロン、IHクッキングヒーター、炊飯器等
瞬間的に大きな電流が流れる家電製品	動作しない場合がある	こたつ、調光機能付き照明器具、温水便座等

- 途中で電源が切れると困る家電製品は接続しないでください。
- 突入電流が大きい家電製品は一部動作しない場合があります。
- 消費電力が大きい家電製品を利用するには、動作させる前に、他の接続している家電製品を減らす等、特定コンセントの定格を超えないように工夫してください。
- もし、安全装置が作動してしまった場合は、室内リモコンのメッセージにしたがって、接続している家電製品の数を減らして、エラー解除してください。
- 電熱機器など発煙、発火、火災を引き起こすおそれのある機器に接続しないでください。
- 電池残量が少ない場合や本体周囲温度が高温または低温時にご使用される際は、電池保護のため放電出力が定格より小さくなる場合があります。接続している家電製品の数を減らしてご使用ください。

■ 接続家電製品例

 ノートパソコン 30W	 リビング用照明 100W	<p>合計 約300Wで最大9時間利用可能です。 ※おおよその目安です。蓄電池の充電状態、その他の条件で変わります。</p>
 液晶テレビ 150W	 携帯電話充電 10W (2台)	

保証とアフターサービス

よくお読みください

長期保証書の発行について

保証については各保証書の内容をよくお読みください。

蓄電システム設置後に、設置業者または販売業者より「出荷証明兼保証書」と「設置完了報告書」を弊社までお送りいただくようご依頼ください。

その後、長期保証書を弊社より送付させていただきますので、紛失しないよう大切に保管してください。

注: 「出荷証明兼保証書」と「設置完了報告書」を弊社までお送りいただけない場合は、長期保証書の発行ができなくなります。

アフターサービスについて

●ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売会社またはコールセンター(0120-690-285)へお問い合わせください。

●修理を依頼される時

修理を依頼される場合、次のことをご知らせください。

- ・ お買い上げ時期
- ・ 装置の型番と製造番号(装置側面の定格ラベルに表示)
- ・ 故障の状況(点検コード、故障発生時の時間と天候など)

●移設等で機器を一時保管される場合は屋内(湿気の少ないところ)に保管してください。

- ・ お客様ご自身では移設を行わないでください。

無償修理規定

当社が別途発行する長期保証書に記載の無償修理規定は以下の通りです。尚、当該内容は予告無く変更される場合があります。

保証期間内に故障し無償修理を受ける場合は、販売元にご依頼のうえ修理に際して本書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

1 保証期間

- (1)蓄電池: 無償修理保証期間は、製品設置完了日より10年又は4,000サイクルのいずれか早い方と致します。
- (2)リモコン: 無償修理保証期間は、製品設置完了日より2年と致します。

2 保証内容

- (1)正常なご使用状態で、万一保証期間中に故障した場合は、本保証規定に従い、弊社の選択により故障箇所を修理又は代品の提供(以下「修理等」という)をさせていただきます。
- (2)本製品の無償容量保証値は、1に記載の保証期間内において、初期実効容量(初期状態にて実際に使用できる電力量2.8kWhを指す)の60%となります。尚、保証期間内における蓄電池の容量の確認に伴う費用はご負担いただきます。ただし、確認の結果、蓄電池の容量が保証値を下回っていた場合、当該費用は当社にて負担させていただきます。

3 無償修理の保証対象外となる場合

- (1)保証期間中であっても次の場合は無償修理の対象外となります。
 - (ア)添付している保証書のご掲示が無い場合。または、保証書に記載されている製品設置完了日、販売店名等の記載事項を変更された場合。
 - (イ)仕様書や取扱説明書に記載された条件、環境等に適合しない保管、使用等に起因する故障・損傷。
 - (ウ)製品設置完了後の落下・衝撃等による故障・損傷。
 - (エ)火災、塩害、地震、風水害、落雷、異常電圧及びその他の天災地変による故障・損傷。
 - (オ)水、泥、砂かぶり等が原因で発生した故障・損傷。

保証とアフターサービス

つづき

- (カ)弊社或いは弊社指定のサービスセンター以外による修理、改造、分解に起因する故障。
 - (キ)ご使用中に生じる外観上の変化(ケースの傷・変色・錆・汚れ、音、振動等)。
 - (ク)保管上の不備や手入れの不備等による故障。
 - (ケ)お客様の装置やソフトウェアなど、弊社製品以外に起因する故障。
 - (コ)本製品出荷時の科学、技術水準では予見が不可能だった事由による故障。
 - (サ)使用上避けられない消耗による障害・部品交換(消耗品交換)。
 - (シ)禁止行為または不当な修理・改造による故障。
 - (ス)低圧住宅用向け以外に使用された場合。
 - (セ)鳥害、鼠害、虫害、小動物および植物に起因する故障。
 - (ソ)異常な電気雑音、ノイズによる故障・損傷。
 - (タ)本製品の故障を原因として損害保険金及び損害賠償金を受け取られた場合。
 - (チ)設置工事に起因して本製品又は家屋に不具合が生じた場合。
 - (ツ)本製品を設置完了時の取り付け場所から移動させたことによる故障・損傷。
 - (テ)電力会社、太陽光発電システム、エネファーム、発電機等からの電気の供給トラブル、その他関係通信機器に起因する故障・損傷。
 - (ト)車両等の衝突および落下物による故障・損傷。
 - (ナ)故障した装置や機器に接続したことによる故障・損傷。
 - (ニ)不正アクセスに起因する異常動作、故障・損傷、蓄電池の劣化。
 - (ヌ)遠隔制御に起因する異常動作、故障・損傷、蓄電池の劣化。
 - (ネ)その他、当社の責めに帰さない事由による故障・損傷、蓄電池の劣化。
- (2)本製品の故障時の修理等に関する当社の責任は、2(1)(➡ P.51)に記載の内容に限定されるものとし、本製品以外の装置、その他財産の修理等、保存中のデータの保護・喪失したデータの復元、修理等の期間中における本製品の使用不能に伴う損害について一切の責任を負いません。
- (3)本製品の故障に関し、不法行為責任、製造物責任、またはその他の法理に基づいて当社がお客様に対して法的責任を負う場合においても、当社の損害賠償責任は、その予見可能性の有無を問わず、本製品の購入代金を超えないものとします。ただし、当社の故意又は重過失により生じた損害についてはこの限りではないものとします。
- (4)本製品は日本国内で使用してください。本書は日本国内においてのみ有効です。
- (5)航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が要求される用途への本製品の使用は保証致しかねます。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、無償修理保証の対象外となる場合、及び、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売元にお問い合わせください。
- ※国からの補助金の支給を受け設置された場合、法定耐用年数(6年間)の期間、本製品の取扱説明書、及び本体貼り付けラベルに従い適切な管理、運用を図るようお願いいたします。

お客様の個人情報の取得・取扱いに関して

よくお読みください

本製品の販売、設置工事、アフターサービス等の業務(以下、本業務といいます。)の実施に際して住友電気工業株式会社(弊社)が取得するお客様に関する情報(以下、個人情報等といいます。)に関し、以下の事項をお知らせいたします。

1. 弊社が取得する個人情報等の取扱い

弊社は、本業務の実施に際して「出荷証明書兼保証書」にご記載頂いた情報、設置工事に際してヒアリングさせて頂いた情報、その他アフターサービス(販売店へのお問い合わせ対応、専用ダイヤルへのお問い合わせ対応を含みます。)を通じて取得した情報等に含まれるお客様の個人情報等を、個人情報保護に関する法令およびその他の規範、弊社の個人情報の管理・保護に関する基本方針「個人情報保護方針」(以下、基本方針といいます。)ならびにその他関連するガイドライン等に基づき、適切にこれを取り扱います。又、弊社は、個人情報等の正確性及び安全性を確保するため、情報セキュリティ対策をはじめとする安全対策を実施し、個人情報等への不正アクセス又は個人情報の紛失、破壊、改ざん、漏えい等の防止を図ります。

2. 個人情報等の利用目的

弊社は、前項のお客様の個人情報等を、本製品及び関連するサービスの提供・提案、その他情報提供(カタログの送付を含む)、契約の履行、サポート対応、通知者のその他製品・サービスのご案内、製品開発、商談、打ち合わせ、連絡、セミナー、展示会、イベントについての情報提供、お問い合わせ・ご相談への対応、アンケート調査実施、分析等の目的に限り利用させていただきます。

3. 個人情報等の第三者への提供

- 弊社は、個人情報等の利用目的の達成に必要な限度において、個人情報保護に関する措置を講じたうえで、個人情報を販売店、中間流通事業者、設置工事業者、アフターサービスの業務委託先等に提供する場合があります。
- 弊社は、匿名加工情報を第三者に提供する場合、法令に従って匿名加工情報の作成または第三者への提供に際してその旨を公表又は個別にお客様に通知し、もしくはお客様の同意の取得をいたします。
- 上記の他、弊社は、お客様の同意を得た場合又は法令に定めのある場合を除き、お客様の個人情報等を第三者に提供いたしません。

4. 保有個人データの開示、訂正、利用停止等

弊社は、法令に定める保有個人データについてお客様ご本人から開示、訂正、利用停止等の請求がある場合には、それぞれ基本方針及びその細則に所定の金額・方法により適切に応じます。

5. 個人情報に関するお問合せ窓口

事業者の名称: 住友電気工業株式会社
お問合せ窓口: エネルギーソリューション営業部 個人情報管理担当
住 所: 〒107-8468 東京都港区元赤坂一丁目3番13号
電 話 番 号: 03-6406-2798(受付時間: 平日9:00~17:00)

6. ご参考

- 最新の基本方針及び細則は弊社のウェブサイト(<https://www.sei.co.jp/privacy/>)から閲覧できますので、ご確認頂きますようお願い申し上げます。又、本製品に固有のお客様の個人情報の取得・取扱いについては、本製品のプロモーションサイトにおいても公表している場合がありますので、併せてご確認頂きますようお願い申し上げます。
- 尚、基本方針及びその細則(本項目の内容を含みます。)は、必要に応じて、予告なく変更されることがあります。法令上お客様の同意が必要となる変更を実施する場合、変更後の内容は当社所定の方法により当該お客様の同意が確認されたものが有効となります。

仕様

型番	PDS-1500S02	
外形寸法	本体	W550 × H760 × D275 mm
	室内リモコン	W100 × H130 × D21 mm
質量	本体	約53 kg
	室内リモコン	約180 g
蓄電池	蓄電池容量	3.3 kWh(2台設置(増設)時: 6.6 kWh)
	初期実効容量	2.8 kWh(JEM 1511による)
	蓄電池種類	リチウムイオン電池
	蓄電池定格電圧	DC51.8 V(単セル当たりの電圧: 3.7 V)
系統連系運転時定格	定格出力	1.0 kW(2台設置(増設)時: 2.0 kW)
	定格出力電圧	AC202 V(単相2線式、ただし接続は単相3線式)
	定格電圧範囲	AC202 V ± 20 V
	定格周波数	50または60 Hz
	出力基本波力率	約1(定格出力時)
	出力電流歪率	総合電流歪率5%、各次電流歪率3%以下(定格出力時)
	電力変換効率	93.6% ^{*1}
自立出力定格	最大出力	1.5 kVA
	出力電流	最大15 A
	出力電気方式	単相2線式
PV自立入力定格	最大入力	1.5 kVA
	入力電気方式	単相2線式
動作温度	-10~40℃ ^{*2}	

※1: JIS C 8961に基づく効率測定方法による定格負荷効率を示します(蓄電池定格電圧)。

※2: 本体内の温度センサの計測値によります。

住友電気工業株式会社

修理・アフターメンテナンス
のご用命は、
「弊社専用ダイヤル」へ



0120-690-285(無料)

受付時間 平日・土・日・祝 9:00～17:00
(ただし、大型連休時は
受け付けておりません)

住友電気工業株式会社

〒554-0024 大阪市此花区島屋1丁目1番3号

当説明書に記載の情報は2021年1月時点のものです。

本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。

なお、本文中では™、®マークは明記していません。



PC19-PD4-S041R0